

取扱説明書



Network Telephony Adaptor

呼制御管理・一斉同報サーバ

LANdeVOICE LCS403

A2 co,ltd.

LdV4-LCS403-1.0-2312

安全上のご注意



ここには、使用者および他の人々への危害や財産への損害を未然に防ぎ、ご購入頂いた製品を安全にお使い頂くための注意事項が記載されています。内容をご理解のうえ、正しくお使いください。

お客様または第三者が被った下記すべての損害について、当社および販売会社は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。




- 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
- 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。日本国外で使用された場合、当社は一切の責任を負いかねます。当社は本製品に関し、海外の保守サービスおよび、技術サポート等を行っておりません。



使用している表示と絵記号の意味

 警告	絶対に行ってはいけないことを記載しています。 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が死亡する、または重傷を負う可能性が想定されます。
 注意	この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分しております。

 発火注意	特定の条件において、発煙または発火の可能性があることを示します。	 感電注意	特定の条件において、感電の可能性のあることを示します。
 けが注意	特定の条件において、怪我を負う可能性があることを示します。		










お守り頂く内容の種類を、次の表示で区分しております。

 禁止	この表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 強制指示	この表示は、必ず実行して頂く「強制」内容です。


 **警告** 火災・感電・けがを防ぐために


 感電注意

 発火注意

 禁止	電源コードやACアダプタを傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを乗せたり、束ねたりしないでください。破損し、火災、感電の原因となります。
 禁止	コンセントや配線器具の定格を超える使い方はしないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。また、AC100V～240V以外での使用はしないでください。異なる電圧で使用すると発煙、火災、感電、故障の原因となります。
 禁止	本製品(付属品含む)の分解や改造、修理は行わないでください。火災や感電の原因となります。また、本製品のシールやカバーを取り外した場合、修理をお断りすることがあります。
 禁止	本製品(付属品含む)に濡れた手で触れないでください。電源が入っているときは感電の恐れがあります。また、電源が入っていても、故障の原因となります。
 強制指示	ACアダプタはコンセントに完全に差し込んでください。差込が不完全のまま使用すると、ショートしたりし、発熱や発煙、火災の原因となります。抜くときは、必ずACアダプタを持って抜いてください。電源コードを引っ張るとコードが傷つき、火災、感電の原因となります。
 強制指示	ACアダプタを使用する場合は必ず付属品をお使いください。また、本製品に付属のACアダプタがある場合、他の製品には使用しないでください。火災、感電、故障の原因となります。
 強制指示	VCCI適合機器については、付属のACアダプタをAC100Vで使用してください。それ以上の電圧で使用する場合にはお問い合わせください。
 強制指示	次の場合は使用を中止してください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 液体や異物などが内部に入ってしまったとき ・ 煙、異臭、異音が出たとき
 強制指示	取り付け取り外しの際は、必ず電源を抜いてください。感電や故障の原因となります。





 注意


 落雷注意


 禁止	雷が鳴ったら本製品や電源コード、接続されているケーブル類には触れず、他機器の取り付け/取り外し等も行わないでください。落雷による感電の原因となります。
---	---

 感電注意


 発火注意

 禁止	本製品(付属品含む)は精密機器のため、次のような場所で設置、保管、使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 湿気や湯気の多いところや漏水のあるところ ・ 急激な温度変化のあるところ(結露するようなどころ) ・ 油煙、ほこりの多いところ ・ 火気の周辺又は熱気のこもるところ ・ 保温性、保湿性の高いところ ・ 漏電のあるところ ・ 強い磁界が発生するところ ・ 静電気が発生するところ ・ 直射日光があたる場所 ・ 暖房器具の近くなどの高温になる場所 ・ 振動の激しい場所 ・ 腐食ガスが発生する場所
 禁止	他の機器と密着させたり、本製品の上に物を置いたりしないでください。故障の原因となります。
 禁止	強い衝撃を与えないでください。 本製品は精密機器のため、落としたり強い衝撃を与えたりしてしまうと、故障の原因となります。
 強制指示	本製品(付属品含む)のほこりなどは定期的にとってください。 湿気などで絶縁不良となり火災の原因となります。電源を切ってから、乾いた布で拭いてください。




 けが注意

 強制指示	お子様の手の届く場所へ設置、保管しないでください。 本製品(付属品含む)の内部やケーブル、コネクタ類に小さなお子様の手が届かないように機器を設置してください。 小さなお子様をご利用になる場合は、製品の取り扱い方法を理解した大人の監視、指導のもとで行うようにしてください。
---	---

設置について

以下の場合には、正規オプション品の「LANdeVOICE4 固定金具キット」をご使用頂 けます。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品を壁掛け設置する場合 ・ 本製品を単独で平置きする際に固定したい場合 	
 強制指示	以下の場合には、必ず「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用してくだ さい。 <ul style="list-style-type: none"> ・ 本製品を平置き段積みする場合 ※本キットを使用せずに本製品を段積みして使用すると、製品内部 からの放熱ができなくなり、発熱による故障の原因となります。

その他

 禁止	シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品(付属品含む)を拭かないでく ださい。 汚れた場合は乾いたきれいな布で拭いてください。汚れがひどい時はきれ いな布に中性洗剤を含ませ、かたく絞ってから拭きとってください。 ただし、コネクタ部分は、よくしぼった場合でもぬれた布では絶対に拭か ないでください。
 強制指示	静電気を除去してから触れてください。 静電気による破損を防ぐため、本製品(付属品含む)に触れる前にドアノ ブやアルミサッシ等、身近な金属に手を触れて身体の静電気を取り除くよ うにしてください。人体からの静電気は、本製品(付属品含む)を破損また はデータの消失、破損させる恐れがあります。
 強制指示	本製品(付属品含む)に接続する機器の取扱いは、各メーカーが定める 手順(取扱説明書など)に従ってください。

はじめに

このたびは、LANdeVOICE LCS403(本製品)をお買い上げ頂き、誠にありがとうございます。本製品は、通話による音声のやり取りをネットワーク(IPネットワーク)を介して行う装置です。



本書は、本製品を正しくご利用頂くための手引です。ご使用前に必ず本書をよくお読み頂き、安全に使用でき、かつ本来の性能を十分に発揮できますよう、正しくお取り扱いください。

お読みになったあとは、必要な時にいつでもご覧頂けるように、大切に保管してください。

本製品に関する最新情報(ソフトウェアのバージョンアップ情報など)は、弊社のホームページでお知らせしておりますのでご覧ください。

<https://www.a-2.co.jp/landevoice/>

本書の表記について

 注意	操作中に気をつけて頂きたい内容です。必ずお読みください。
 メモ	この表示は、本製品を十分にご活用頂くための補足事項や参考となる情報を説明しています。

- 本書の記載内容の一部または全部を無断で転載することを禁じます。
- 本書の記載内容は将来予告なく変更されることがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成致しておりますが、記載漏れや不審な点がありましたらご一報くださいますようお願い致します。
- LANdeVOICE は「外国為替および外国貿易管理法」に基づいて規制される戦略物資(または役務)には該当しません。
- Windows および Windows 10 は米国 Microsoft 社の商標です。
- LANdeVOICE は株式会社エイツの登録商標です。

目次

安全上のご注意	2
はじめに	6
目次	7
第 1 章 お使いになる前にお読みください	9
付属品の確認.....	10
各部の名称と働き.....	10
LED 表示.....	12
第 2 章 設置と接続	13
設置する.....	14
電源を入れる.....	14
LAN ケーブルを接続する.....	14
第 3 章 機能	15
LCS403 の機能について.....	16
端末管理・呼制御機能.....	19
ユニキャスト一斉同報・会議通話機能.....	21
マルチキャスト一斉同報機能.....	26
LCS403 での管理について.....	29
冗長化とデータの同期について.....	30
第 4 章 LANdeVOICE 端末の設定	31
LCS403 配下での共通設定.....	32
ユニキャスト一斉同報/会議通話用の設定.....	33
マルチキャスト一斉同報受信用の設定.....	33
第 5 章 LCS403 の設定方法	34
設定画面ログイン方法.....	35
設定画面について.....	39
設定画面のメニューについて.....	40
メンテナンスモード.....	42
初期化の方法.....	42
第 6 章 設定ファイル一覧	43
基本設定ファイル(netcnfg.ini).....	44
システム設定ファイル(syscnfg.ini).....	45
アクション設定ファイル(action.ini).....	49
第 7 章 端末管理システム	51
端末管理システム Web 画面ログイン方法.....	52
LANdeVOICE 端末情報の登録、閲覧、編集.....	54
端末状態確認表示.....	59
ユニキャスト一斉同報・会議通話の設定.....	62
マルチキャスト一斉同報の設定.....	71
CSV 入力による設定.....	84

第 8 章 運用例	97
LCS403 経由での基本的な通話.....	98
代表電話番号機能	101
ユニキャストー斉同報.....	103
ユニキャスト会議通話.....	106
マルチキャストー斉同報.....	109
第 9 章 製品仕様	116
付録	118
付録 1 CPS8 からリプレースする場合について.....	119
付録 2 ファイル送信による設定について	120
付録 3 syscnfg.ini のパラメータ「CIRT」の動作.....	124
付録 4 修理について	124
付録 5 パソコンのネットワーク設定について.....	125

第1章 お使いになる前にお読みください

この章では、LCS403 の各部の名称と働きなどについて説明します。

- 付属品の確認
- 各部の名称と働き
 - 1 前面
 - 2 背面と上面
- LED表示

付属品の確認

LCS403 をご使用になる前に、以下のものが同梱されていることをご確認ください。万が一、欠品・不良などがございましたら、お買い上げ頂いた販売店または代理店までご連絡ください。

- LANdeVOICE LCS403 本体
- ACアダプタ (専用アダプタ 9V 1A)
- LANケーブル (ストレート 3m)
- 取扱説明書 (本書)
- 保証書 (本書末尾)
- シリアルシール

各部の名称と働き

1 前面



2 背面



- ① F.G.
接地(アース)端子 ※接続推奨
- ② DC-IN
付属の AC アダプタを接続
- ③ C.OUT1/C.OUT2
接点出力端子
- ④ SW
プッシュスイッチ
機能 1: 約 3 秒以上長押しでログを保全しながら再起動
機能 2: 電源投入しながら長押しでメンテナンスモード(P.42 参照)
- ⑤ LAN
RJ-45 ネットワークケーブル(10BASE-T/100BASE-TX)を接続
Auto MDI/MDI-X 対応
PoE 受電可能 ※AC アダプタ接続時は PoE 受電停止

LED表示

LED表示			CCS401 の状態
STATUS	CCH	TCH	
消灯	消灯	消灯	電源OFF
電源投入後、全LEDが紫交互点灯、約10秒後にSTATUSが橙速点滅、約5秒後に起動完了。			電源投入時
緑点灯	緑点灯	消灯	待機状態(製品モード:呼制御のみ) 呼制御パケット処理時:CCHが橙点灯
緑点灯	緑点灯	緑点灯	待機状態(製品モード:呼制御+同報) 呼制御パケット処理時:CCHが橙点灯
橙速点滅	橙速点滅	橙速点滅	メンテナンスモードで起動中
赤遅点滅	緑点灯	緑点灯	LANケーブルが接続されていない
赤点灯	赤点灯	赤点灯	端末再起動中
白遅点滅	白遅点滅	白遅点滅	設定画面左上「点滅」ボタン押下時 (3秒間点滅) ※設定画面を開いている端末を 特定したい場合等に使用
緑点灯	緑点灯	橙点灯	ユニキャスト同報中 呼制御パケット処理時:CCHが橙点灯
緑点灯	緑点灯	青点灯	マルチキャスト同報中 呼制御パケット処理時:CCHが橙点灯



メモ 異常時の対処

上記以外のLED表示の場合は異常状態の可能性があるので、お手数ですが、お買い求め頂いた代理店または販売店へご連絡ください。

または、弊社Webサイトよりメールにてお問い合わせください。
<https://www.a-2.co.jp/landevoice/>

なお、機能追加等の理由でファームウェアのバージョンが更新され、予告なく仕様が変更されている場合があります。
 弊社Webサイトにて随時情報が更新されていますので、ご確認くださいませよう、お願いいたします。

第2章 設置と接続

この章では、LCS403 の設置と各機器との接続方法について説明します。
設置する前に、P.2「安全上のご注意」を必ずお読みください。
手順としては、設定を先に行った方がスムーズな場合があります。

- 設置する
- 電源を入れる
- LANケーブルを接続する

設置する

通常設置の場合は、LCS403 のゴム脚(滑り止めシール)が付いている面を下にして設置してください。

壁掛け設置をする場合や平置きで台に固定する場合は、正規オプション品の「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用することを推奨します。

平置き段積みする場合には、必ず「LANdeVOICE4 固定金具キット」を使用して設置してください。

電源を入れる

- 1 LCS403 には電源スイッチはありません。ACアダプタのコネクタ部分を「DC-IN」に接続し、プラグ部分をコンセントに差し込むと電源が入ります。
 ※アースの接続を推奨します。
 ※PoEを利用する場合、ACアダプタは不要です(PoEとACアダプタを両方接続するとわずかにノイズが出る場合がありますが、動作に影響はありません)。



- 2 LCS403 の電源を切るには、プラグ部分を電源コンセントから抜きます。

LANケーブルを接続する

- 1 LANケーブルを「LAN」と書かれたポートに接続します。
 ケーブルはカチッと音がするまでしっかりと差し込んでください。
- 2 LANケーブルの反対側をHUBまたはルータなどのネットワーク機器に接続してください。

メモ LANポートのリンクランプを確認してください

LCS403 とネットワーク機器が正しく接続されている場合は、電源投入後にLANポートのリンクランプが点灯します。ご使用になる前にリンクランプが点灯しているかご確認ください。

接続状況	緑ランプ(左)	黄ランプ(右)
100BASE-TX でリンクアップ	点灯	点灯
10BASE-T でリンクアップ	点灯	無灯

第3章 機能

この章では、LCS403 の機能について説明します。

- LCS403 の機能について
 - 1 概要
 - 2 仕様
- 端末管理・呼制御機能
 - 1 端末管理機能
 - 2 呼制御機能
- ユニキャスト一斉同報・会議通話機能
 - 1 一斉同報(放送)機能
 - 2 会議通話機能
 - 3 開始音・終了音再生機能
 - 4 会議通話の自由参加機能
- マルチキャスト一斉同報機能
 - 1 一斉同報(放送)機能
 - 2 開始音・終了音再生機能
 - 3 放送チャンネルのグループ化機能
- LCS403 での管理について
- 冗長化とデータ同期について

LCS403 の機能について

LCS403 の機能概要や仕様について説明します。

1 概要

LCS403 は旧機種CCS401、UCS401、MCS401 を統合したサーバで、以下の機能を搭載しています。

- [1] 端末管理・呼制御機能
- [2] ユニキャスト一斉同報・会議通話機能
- [3] マルチキャスト一斉同報機能

内部に、端末管理・呼制御機能をつかさどるCCSセクション、ユニキャスト一斉同報・会議通話機能をつかさどるUCSセクション、マルチキャスト一斉同報機能をつかさどるMCSセクションが存在します。

運用時には、以下の3パターンを選択して運用します(P.44 参照)。

- ① 端末管理・呼制御機能のみ
- ② 端末管理・呼制御機能 + ユニキャスト一斉同報・会議通話機能
- ③ 端末管理・呼制御機能 + マルチキャスト一斉同報機能

※ユニキャスト機能とマルチキャスト機能を同時に有効にすることはできません。

■ 端末管理機能

「端末管理システム」を搭載し、ネットワーク上に接続されたLANdeVOICE端末の電話番号を一括管理できます。

各端末の状態確認も可能です。

■ 呼制御機能

LANdeVOICE端末同士の呼接続を中継します。端末同士は、お互いに相手端末のIPアドレスを登録することなく通話ができます。

また、複数のLANdeVOICE端末を1つの電話番号で運用し、空いている端末を呼び出したり、複数端末を一斉に呼び出したりできる代表電話番号機能も搭載しています。

■ ユニキャスト一斉同報機能

ユニキャスト通信方式を使用し、同報元端末の音声をIPネットワーク経由でLANdeVOICEの各同報先端末へ配信します。

グループ同報も可能です。

ユニキャストを使用するため、どんなIPネットワークでも利用可能です。

■ 会議通話機能

最大20者まで同時通話が可能です。ユニキャストを使用するため、どんなIPネットワークでも利用可能です。

※ユニキャスト一斉同報機能と会議通話機能を同時に使用することはできません。

■マルチキャスト一斉同報機能

マルチキャスト通信方式を使用し、同報元端末の音声をIPネットワーク経由でLANdeVOICEの各同報先端末へ配信します。

- ・LCS403 から各受信端末までの配信方式がマルチキャストになります。
- ・同報先端末は任意の放送チャンネルの放送を受信します。
※受信端末に放送受信設定をする必要があります(第 4 章参照)。
- ・放送チャンネルをグループ化することも可能です。
- ・マルチキャストに対応したネットワーク環境が必要です。

【用語解説】

放送チャンネル：電話番号、チャンネル番号、放送の優先度、開始音・終了音が設定された放送の単位

※以下、「放送CH」と略します

電話番号：同報元端末から放送CHへ放送を行うためにダイヤルする番号

チャンネル番号：LANdeVOICE端末が放送を受信するために設定する番号

※server.iniに記述するMCH番号

放送チャンネルグループ：複数の放送CHをグループ化したもの

※以下、「放送CHグループ」と略します

■冗長化機能

2 台のLCS403 により、呼制御の冗長化および端末管理システムデータの自動同期を行うことができます。

【同期される内容】

端末管理システムデータ

- ・LANdeVOICE端末情報
- ・ユニキャストグループ情報
- ・ユニキャスト音源情報
- ・マルチキャスト放送情報
- ・マルチキャスト音源情報
- ・WAVファイル

【同期されない内容】

設定ファイル

- ・基本設定ファイル(netcnfg.ini)
- ・システム設定ファイル(syscnfg.ini)
- ・アクション設定ファイル(action.ini)

2 仕様

LCS403 全体

最大登録電話番号数: 800 件

最大同時通話数: 200 通話

ユニキャスト-斉同報/会議通話

最大登録同報/会議グループ数: 100 グループ

最大同時同報数: 100 者(発信者含まず) かつ 5 グループ

最大同時会議通話: 20 者 かつ 5 グループ

最大同時同報/会議グループ数: 5 グループ

ユニキャスト-斉同報

最大登録同報グループ数: 100 グループ

最大同時同報グループ数: 5 グループ

最大同時同報数: 100 者(発信者含まず) かつ 5 グループ

端末側使用可能コーデック: G.711、G.729A

※G.729Aの場合、開始音・終了音は再生できません。

ユニキャスト会議通話

最大登録会議グループ数: 100 グループ

最大同時会議グループ数: 5 グループ

最大同時会議通話: 20 者 かつ 5 グループ

端末側使用可能コーデック: G.711 のみ

マルチキャスト-斉同報

放送受信可能端末数: 理論上無制限

最大登録放送CH数: 255 放送CH

登録可能優先度: 1~255

最大同時同報数: 19+1(チャンネル番号 1 固定)=20 放送CH

※PBSPシリーズの場合 9+1=10 放送CH

最大登録放送CHグループ数: 10 グループ

※1 グループ 20 放送CHまで、

うち 1 つはチャンネル番号 1 を含むこと必須

端末側使用可能コーデック: G.711、G.729A



注意 マルチキャストのネットワーク環境について

セグメントを越えてマルチキャスト-斉同報を行う場合、ルータが受信端末からのIGMPパケットを処理できる必要があります。

受信端末はIGMPv2 プロトコルを使用します。

端末管理・呼制御機能

LCS403 は「端末管理システム」を搭載しており、下記の機能を持っています。

1 端末管理機能

下記のような端末管理システムのWeb画面にて、複数端末の電話番号管理や、通信状態等の確認をすることができます。

LCS403
▲

端末状態確認

LANdeVOICE端末および各サーバの通信状態を確認できます

同期ステータス: 同期正常(2001-01-31 16:46:59) / 更新回数: データベース[14], チャイム(ユニキャスト)[0]

各サーバのステータス

サーバ名	通信ステータス	IPアドレス	ポート番号
CCS401	● 正常	192.168.1.91	4445
UCS401	● 正常(5回線中、0回線使用中)	127.0.0.1	5446

検索対象列: 電話番号
検索ワード:
Q検索

正常端末を表示する
 異常端末を表示する

検索結果 表示件数: 3件中 1-3件

接続/切断日時
 動的ポート番号

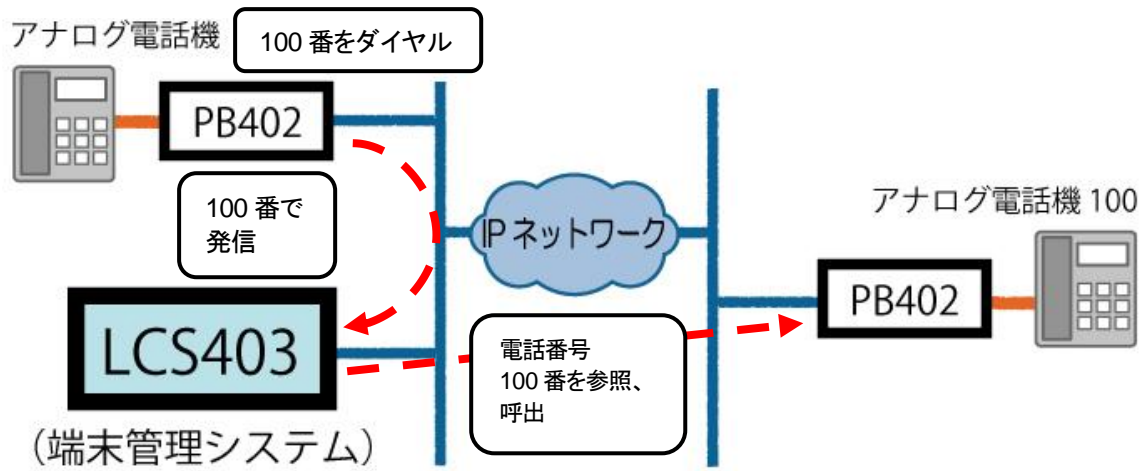
No.	通信ステータス	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	● 待機中	100	0	192.168.1.93	4445	管理部 PB402
2	● 待機中	200	0	192.168.1.94	4445	第1工場 SP401
3	● 異常	300	0	192.168.1.95	4445	第2工場 SP401

最初のページへ
一つ前へ
1
一つ次へ
最後のページへ

ページを再読み込み
端末管理システム ver.1.0.0_rc8 Copyright (C) 2016-2023 A2 Corp. All Rights Reserved.

2 呼制御機能

発信元端末に発信先端末のIPアドレスやポート番号を登録しなくても、LCS403 経由で呼び出すことができます。また、設定により複数端末の一斉呼出等も可能です。

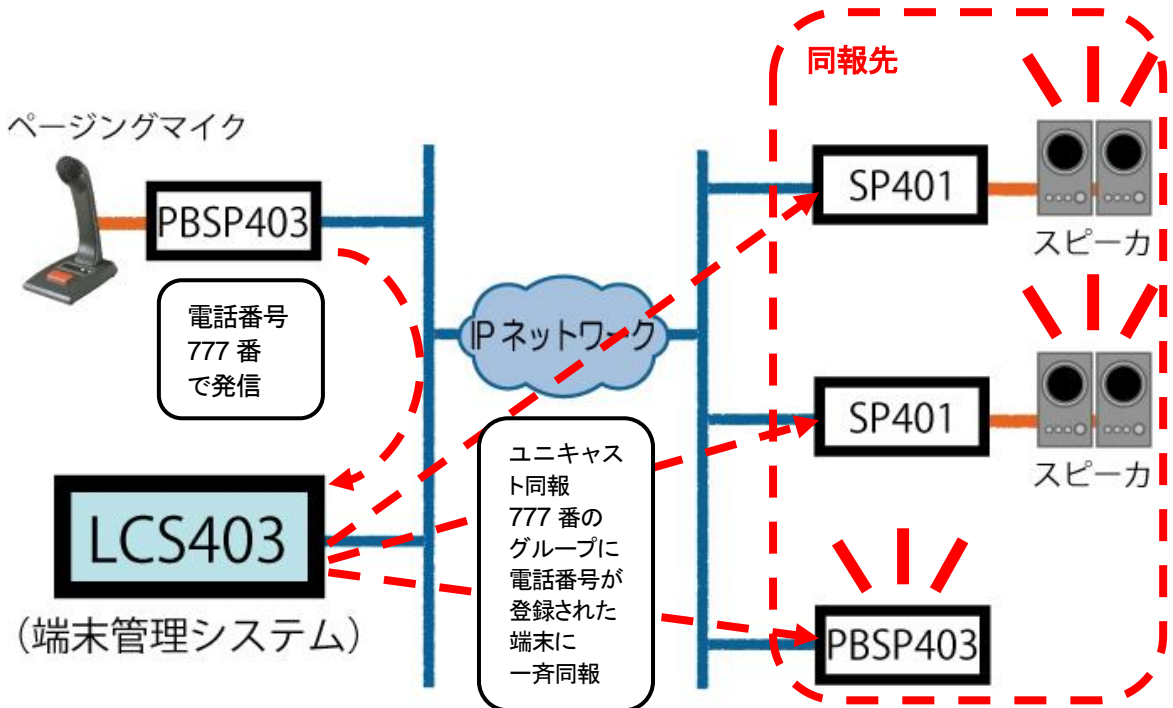


ユニキャスト一斉同報・会議通話機能

LCS403 のユニキャスト一斉同報(放送)および会議通話の機能について説明します。

1 一斉同報(放送)機能

同報元の端末(下図ではPBSP403)からLCS403 に発信すると、あらかじめグループ登録された電話番号に一斉同報を行います。



■通信方法

LCS403 から同報先端末へはユニキャストです。同報先端末に特別な設定は必要ありません(一部設定の確認が必要。第4章参照)。

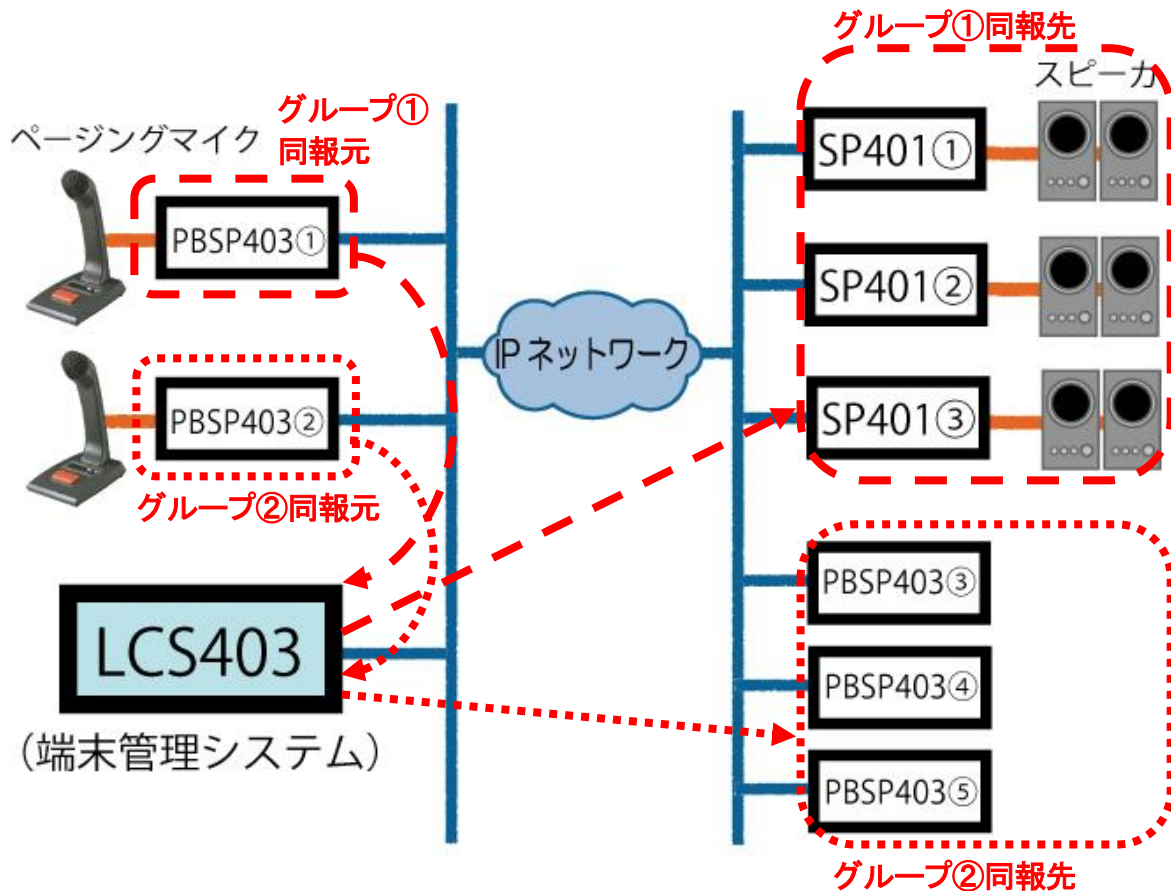


注意 ネットワークの帯域幅について

LCS403 の必要帯域幅は、同報元端末と同報先端末数分です。

■運用例

例えば下図のような運用が可能です。



グループ①とグループ②が同時に一斉同報をすることができます。
 上図の場合、グループ①とグループ②の同報数の合計が 100 者まで同報可能となります。

■一斉同報が開始されるタイミング

グループの全端末が接続された時点、または接続待ちタイマー（出荷時設定：5 秒）経過後に一斉同報を開始します。

【同報の流れ】放送開始（呼出）→接続待ちタイマー経過→開始音再生→一斉同報（音声放送）開始

■自動再接続機能

LCS403 は同報開始時や途中で切断した端末に対して、自動再接続します。接続待ちタイマーのタイムアウト前に接続できなかった端末は、一斉同報継続中に接続すれば途中から受信できます。

■制限

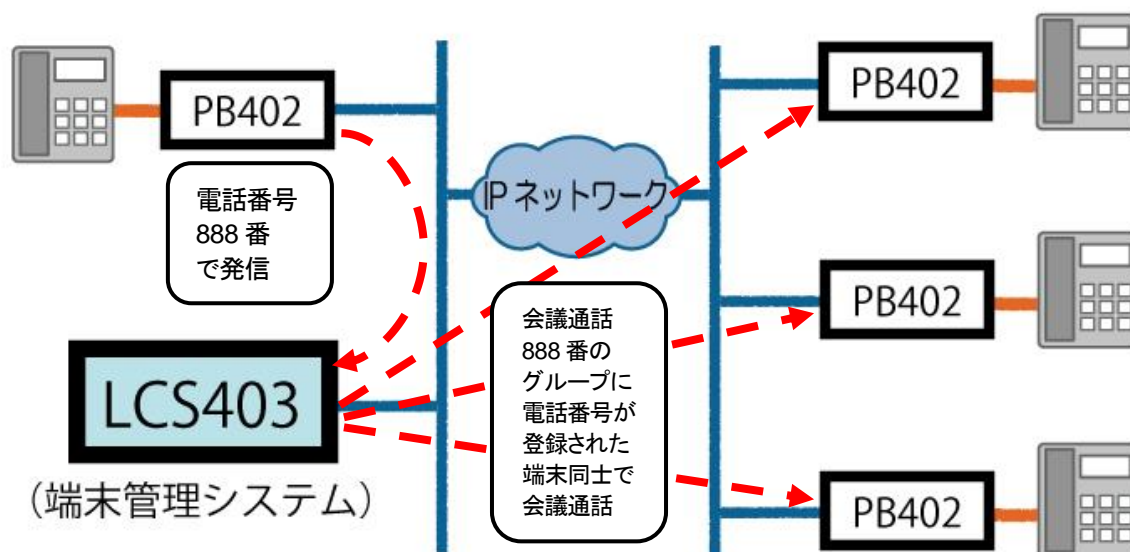
同報数合計 100 者を超えて一斉同報を行うことはできません。

例えば上図において、グループ①に 50 者、グループ②に 60 者の同報先が登録されているとします。

グループ①が一斉同報を行っている最中にグループ②が一斉同報を行おうとすると、最大同時同報数 100 者を超えてしまうため、グループ②へ同報を開始することはできません。

2 会議通話機能

会議通話グループの中で、発信者が会議通話用電話番号でLCS403 へ発信します。会議通話グループ登録された端末を呼び出し、会議通話を行います。



■通信方法

LCS403 と会議通話端末の双方向通信です。
(一部、端末設定の確認が必要。第4章参照)

■会議通話の開始

グループの全端末が接続された時点、または接続待ちタイマー(出荷時設定:5秒)経過後に会議通話を開始します。

【会議通話の流れ】開始(呼出)→接続待ちタイマー経過→開始音再生→会議通話(音声通話)開始

■会議通話の終了

発信者が切断すると会議通話は終了します。

■途中参加

接続待ちタイマーのタイムアウト前に接続できなかった端末は、会議通話継続中にその会議通話グループの電話番号に発信すると途中参加できます。

■途中退出

参加者が切断すると途中退出できます。

■制限

合計20者を超えて会議通話を行うことはできません。

例えばグループ1で10者、グループ2で15者の設定がされている場合、グループ1の会議通話中にグループ2が会議通話を開始することはできません。

3 開始音・終了音再生機能

一斉同報や会議通話の開始時と終了時に、チャイム音等を再生することができます。

- ・LCS403 に登録されたWAVファイルを開始音、終了音として再生します。
- ・LCS403 には工場出荷時に以下の音源ファイルがインストールされています。
端末管理システムWeb画面上で試聴が可能です(P.69、70 参照)。
 - 1.wav (開始音:チャイム音 上がり)
 - 2.wav (開始音:無音 約1秒間)
 - 3.wav (開始音:サイレン音)
 - 129.wav (終了音:チャイム音 下がり)
 - 130.wav (終了音:無音 約1秒間)
- ・上記工場出荷時音源ファイルは弊社Webサイトからもダウンロード可能です。
<https://www.a-2.co.jp/landevoice/support/firmware.html>
- ・開始音は発信元端末側にも聞こえるため、一斉同報や会議通話を開始していいタイミングがわかります。
一斉同報の同報元端末がSP401などで、ページングマイクを使用する場合に、開始音を聞くためにはスピーカを接続してください。
- ・開始音はグループの全端末が接続された時点、または接続待ちタイマー(出荷時設定:5秒)経過後に再生されます。
※自由参加型会議通話(P.25、67 参照)の場合は1者目が会議通話を呼び出した時点
- ・放送機器の起動時間の影響で開始音が頭切れする場合は、システム設定ファイル(syscnfg.ini)のパラメータ「TALK_DELAY」(P.47 参照)で調整してください。
- ・終了音は発信元端末がオンフックした時点で再生されます。
※自由参加型会議通話(P.25、67 参照)の場合は全員が退出した時点のため聞こえません
- ・LCS403 の音源ファイルをインストールまたは変更したい場合は、端末管理システムWeb画面にて送信(P.69、70 参照)、または設定画面メニュー「ファイル送信/バックアップファイル復元」より圧縮ファイルでの一括送信にて可能です。

4 会議通話の自由参加機能

会議通話を自由参加型にすることができます。

※一斉同報では本機能は利用できません。

■機能の利用方法(P.67 参照)

- ・会議通話グループを登録する際に、オプション欄に自由参加機能用のパラメータを記述します。
- ・グループの呼び出し先に便宜上最低 1 件の任意の端末を追加します(実際には呼び出されません)。
- ・システム設定ファイル(syscnfg.ini)のCCSセクションにパラメータを追加します。

■会議通話の開始

1 者が自由参加型会議通話を呼び出すと、開始音が再生され、会議通話を開始します。

■会議通話の終了

参加者全員が退出すると会議通話は終了します。

終了音は参加者がいなくなった状態で再生されるため、聞こえません。

■会議通話への参加

会議通話継続中にその会議通話グループの電話番号に発信すると、LCS403 に登録されている端末であれば誰でもいつでも自由に参加できます。

1 者が参加する度に入室音(join.wav)が再生されます(P.70 参照)。

■会議通話からの退出

参加者は切断するといつでも退出できます。

1 者が退出する度に退室音(leave.wav)が再生されます(P.70 参照)。

■制限

合計 20 者を超えて会議通話を行うことはできません。

例 1) 一つの会議通話に 20 者が参加している状態では、それ以上参加することはできません。

その後 1 者が退出すれば、代わりに別の 1 者が参加することができます。

例 2) グループ 1 に 10 者が参加している状態では、グループ 2 に参加できるのは 10 者までです。

その後グループ 1 から 1 者が退出すれば、代わりにグループ 2 にもう 1 者参加することができます。

逆にグループ 2 から 1 者が退出すれば、グループ 1 にさらにもう 1 者参加することもできます。

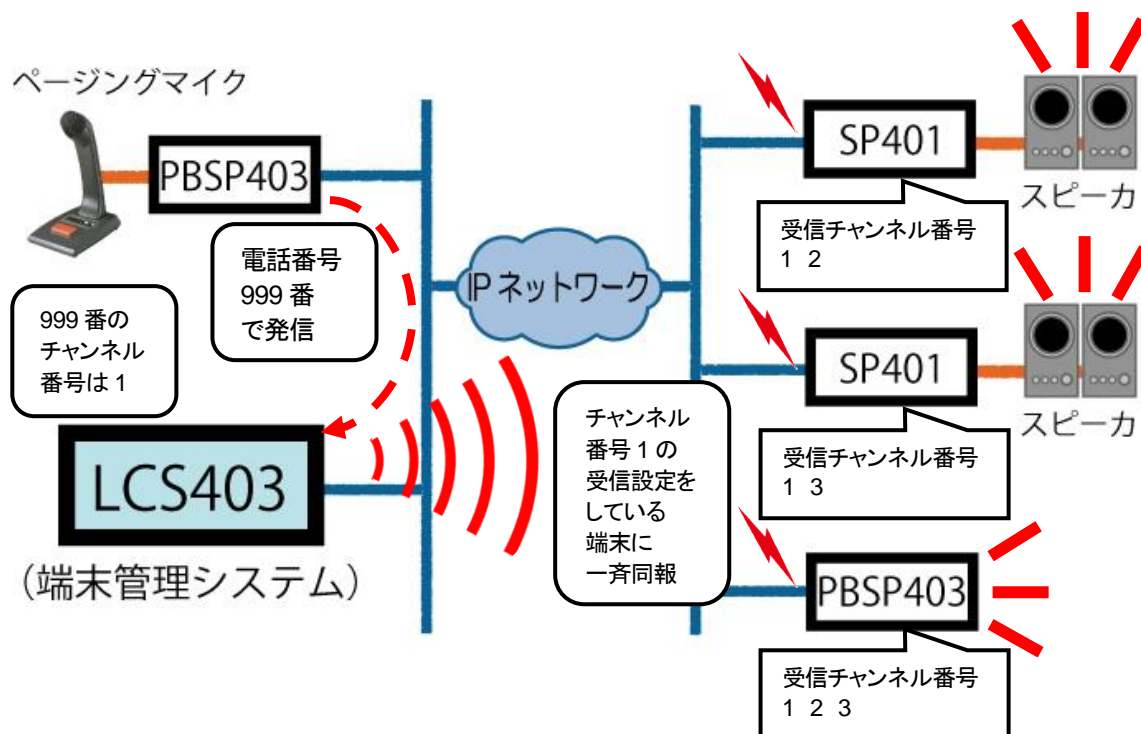
マルチキャスト一斉同報機能

LCS403 のマルチキャスト一斉同報（放送）機能について説明します。

1 一斉同報（放送）機能

■一斉同報の流れ

同報元端末（下図ではPBSP403）からLCS403 に発信すると、登録された該当放送CHの放送が開始され、あらかじめその放送CHの受信設定をしている端末に対して一斉同報が行われます。



※放送を受信するには端末側での設定 (P.33 参照) が必要です。

■制限

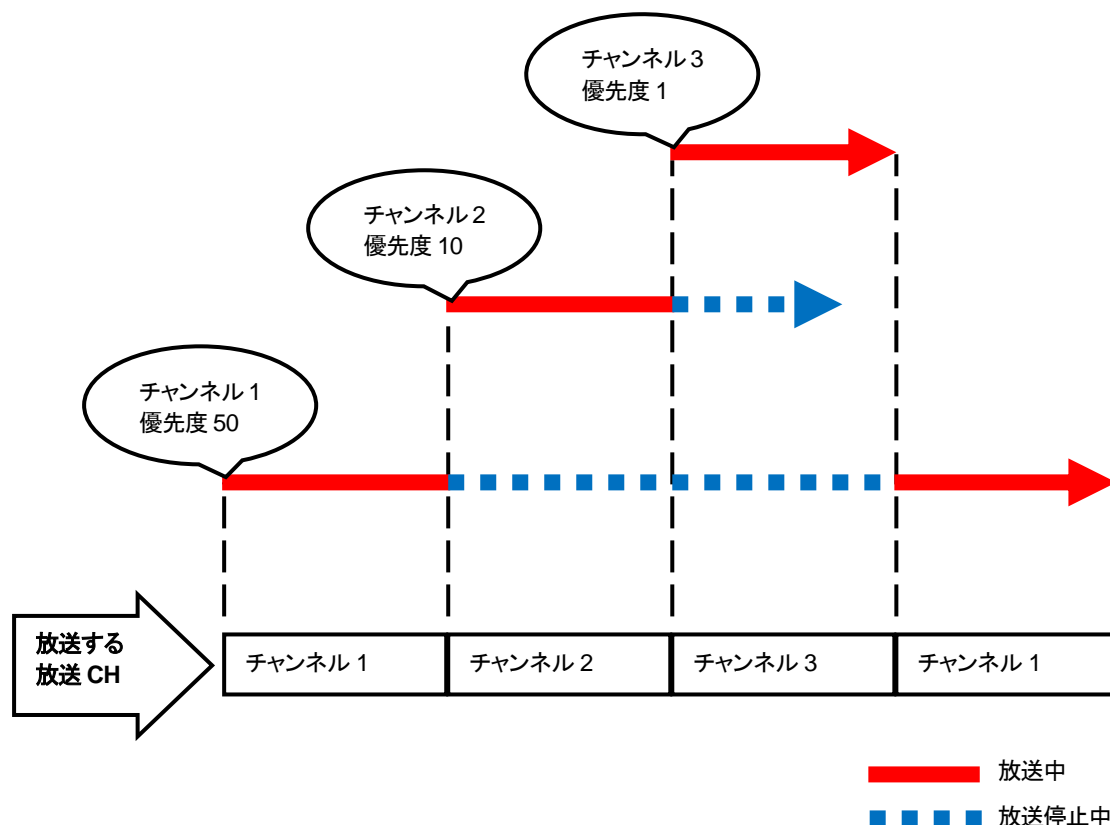
- ・一つの同報に対して受信端末台数の制限はありません。
- ・同時同報数合計 20 (チャンネル番号 1 を含む) を超えて一斉同報を行うことはできません。
- ・受信端末になることができるのは SP401、PBSP403、PBSP、PBSP-SIO、PBSP-BL、KA02 のみです。
- ・受信端末は機種によって対応する放送プロトコルが異なります。パラメータ「MCS_TYPE」(P.48 参照) にて放送プロトコルを選択するようになっており、それぞれの対応機種は下表の通りになっています。対応する放送プロトコルが異なる機種を混在させないようご注意ください。

MCS_TYPE 値 (放送プロトコル)	対応機種
0	SP401、PBSP403、KA02
1	SP401、PBSP403、PBSPシリーズ

■ 放送の優先度

複数の放送を同時に受信した端末については、優先度がより高い放送CHが放送されます(P.75 参照)。

例えば、チャンネル番号 1、2、3 の受信設定をしている 1 台の受信端末が同時に複数の放送を受信する場合、以下のような動きになります。



- 1 チャンネル番号 1 の放送CHを受信
チャンネル番号 1 の放送CHを放送します。
- 2 チャンネル番号 2 の放送CHを受信
チャンネル番号 2 の放送CHの優先度はチャンネル番号 1 の放送CHの優先度より高いため、チャンネル番号 2 の放送CHを割り込みで放送します。
- 3 チャンネル番号 3 の放送CHを受信
チャンネル番号 3 の放送CHの優先度はチャンネル番号 2 の放送CHの優先度より高いため、チャンネル番号 3 の放送CHを割り込みで放送します。
- 4 チャンネル番号 3 の放送CHが終了
現在放送している放送CHが終了した場合、1 つ前の放送CHに戻ります。上図の場合はチャンネル番号 2 の放送CHがすでに終了しているため、チャンネル番号 1 の放送CHに戻り、途中から放送を再開します。

2 開始音・終了音再生機能

一斉同報の開始時と終了時に、チャイム音等を再生することができます。(P.75、82、83 参照)。

- ・放送CHごとに開始音・終了音を設定することができます。
- ・LCS403 および放送受信端末に同じ音源ファイル(WAVファイル)がインストールされている必要があります。
- ・LCS403 には工場出荷時に以下のファイルがインストールされています。
端末管理システムWeb画面上で試聴が可能です(P.82、83 参照)。

- 1.wav (開始音:サイレン音)
- 2.wav (開始音:サイレン音)
- 3.wav (開始音:チャイム音 上がり)
- 129.wav (終了音:チャイム音 下がり)
- 130.wav (終了音:チャイム音 下がり)
- 131.wav (終了音:チャイム音 下がり)

- ・上記工場出荷時音源ファイルは弊社Webサイトからもダウンロード可能です。
<https://www.a-2.co.jp/landevoice/support/firmware.html>
- ・放送受信端末を2018年7月以前に購入している場合は音源ファイルをアップデートする必要があります。
- ・同報元端末側には開始音・終了音が聞こえません。
- ・LCS403 にインストールされている音源ファイルの長さが、放送受信端末側での開始音・終了音再生に要する時間となります。
- ・LCS403 の音源ファイルは端末管理システムWeb画面にて送信(P.82、83 参照)、または設定画面メニュー「ファイル送信/バックアップファイル復元」より圧縮ファイルでの一括送信にてインストールできます。
各端末の音源ファイルは設定画面メニュー「ファイル送信/バックアップファイル復元」よりインストールできます。

3 放送チャンネルのグループ化機能

複数の放送CHをグループ化することができます(P.77、79、80 参照)。

例えば放送先拠点別に放送CHを設計した場合、本機能で放送先拠点をグループ化できることとなります。

- ・最大 10 グループ、1 グループ最大 20 放送CH(うち 1 つはチャンネル番号1を含むことが必須)をグループ化できます。

※チャンネル番号 1 を除いて 20 放送CHを設定した場合は放送することができません。

- ・グループ化した放送CHの内、放送受信端末側で複数の放送CHを受信する設定になっている場合、優先度の高い放送CHが放送されます。
- ・開始音・終了音はグループ内の各放送CHに設定されているものが再生されません。再生時間が一番長いものに合わせて放送が開始されます。
- ・放送中の放送CHが含まれたグループには放送をかけることができません。

LCS403 での管理について

LCS403 でLANdeVOICE端末の管理を行うために必要な事柄や前提について説明します。

- 1 LCS403 には固定IPアドレスが必要です。
- 2 LANdeVOICE端末にはLCS403 のIPアドレスを登録する必要があります。
端末はLCS403 にステータス通知を行い、LCS403 はその通知内容を端末管理システムに反映します。端末にLCS403 のIPアドレスを登録しないとこのステータス通知を行うことができません。
※具体的な設定方法については第 4 章をご覧ください。
- 3 LANdeVOICE端末はIPアドレスまたはシリアル番号で管理されます。
端末のIPアドレスが固定の場合はIPアドレスで管理されます。
IPアドレスが動的の場合はシリアル番号で管理されるため、シリアル番号の登録を行う必要があります。
※具体的な登録方法についてはP.56、57 をご覧ください。
- 4 LANdeVOICE端末はできるだけ短い間隔でステータス通知を行う必要があります。
端末のステータス通知の間隔が長ければ長いほど、端末管理システムへの反映が遅れます。端末管理システムをできるだけ最新状態で活用するために、各端末のステータス通知間隔を 3 分に設定することを推奨します。
※具体的な設定方法については第 4 章をご覧ください。
- 5 端末管理システムでの初回端末登録時や一括編集時には「CSV入力タブ」を使用することをおすすめします (P.84 参照)。
それ以外のメンテナンス (端末の追加、登録済み端末情報の変更) 時は「LANdeVOICE端末情報」タブを使用することをお勧めします (P.54 参照)。
- 6 LANdeVOICE端末のIPアドレスは端末側でしか変更できません。
端末のIPアドレスは端末管理システムで閲覧することはできますが、変更することはできません。変更したい場合は各端末で設定変更を行ってください。

冗長化とデータの同期について

LCS403 は 2 台導入することで冗長化運用が可能です。
 冗長化運用では、端末は発信時にプライマリサーバへ優先的に接続しますが、プライマリサーバに接続できない場合は、セカンダリサーバに接続し、呼制御を行うことができます。

また、冗長化運用では、端末管理システムの全データを 2 台の LCS403 間で自動的に同期することができます。

■冗長化する方法

各LCS403 に冗長化相手のLCS403 のIPアドレスを登録します。
 ※具体的な設定方法についてはP.46 をご覧ください。

■運用中の端末管理システムデータ更新時の同期

運用中にどちらかのLCS403 で端末管理システムのデータを更新すると、そのデータはもう一方のLCS403 の端末管理システムデータに自動的に反映されます。
 これにより、運用中の 2 台のLCS403 の端末管理システムのデータは、常に一致した状態となります。

■LCS403 機器交換時の同期

いずれかのLCS403 を機器交換等する場合、運用中のLCS403 の端末管理システムデータが、交換したLCS403 の端末管理システムデータに自動的に反映されます。
 ※データ更新回数が多い方のデータが少ない方のデータに上書きされますので、交換するLCS403 の端末管理システムデータの初期化が必要です。

■同期される内容

端末管理システムの登録データは同期されますが、設定ファイルは同期されません。「製品モード」(P.44 参照)や代表電話番号設定パラメータ「PLUR_SETUP」(P.46 参照)も、両方のLCS403 で設定する必要があるため、ご注意ください。

同期される： 端末管理システムデータ		同期されない： 設定ファイル
・LANdeVOICE端末情報	・マルチキャスト放送情報	・基本設定ファイル (netcnfg.ini)
・ユニキャストグループ情報	・マルチキャスト音源情報	・システム設定ファイル (syscnfg.ini)
・ユニキャスト音源情報	・WAVファイル	・アクション設定ファイル (action.ini)

注意 機器交換時の注意

LCS403 を機器交換する場合、誤った方向にデータが同期されると、運用データが消えてしまう恐れがあります。
 交換設置する方のLCS403 の端末管理システムデータは、設置前に必ず初期化してください。

第4章 LANdeVOICE 端末の設定

LCS403 経由で発信や一斉同報等を行うために、LANdeVOICE 端末へ LCS403 を登録する必要があります。また、一斉同報等を行うにあたり、LANdeVOICE 端末の一部の設定を確認する必要があります。それらの方法や内容について説明します。

※各 LANdeVOICE 端末の詳細な設定方法については、各機種取扱説明書をご覧ください。

※LANdeVOICE4 シリーズ端末での設定方法を説明します。
2 シリーズ端末での設定方法についてはお問い合わせください。

- LCS403 配下での共通設定
- ユニキャスト一斉同報/会議通話用の設定
- マルチキャスト一斉同報受信用の設定

LCS403 配下での共通設定

LCS403 配下で運用するためには、下記の設定をします。

パラメータ名	設定内容
システム設定ファイル (syscnfg.ini)	
ALIVETIMER	工場出荷時設定値 3 が推奨値です。
BLOCK	CODERに合わせて設定します。
CODER	LCS403 配下で通話を行う全ての端末で設定を統一します。
SERVER ※必須	LCS403 (プライマリサーバ) の IP アドレスを設定します。 (例) SERVER 192.168.1.100 !プライマリサーバのIPアドレス
SERVER2 ※冗長化する場合	LCS403 (セカンダリサーバ) の IP アドレスを設定します。 (例) SERVER 192.168.1.200 !セカンダリサーバのIPアドレス
電話番号設定ファイル (phone.ini)	
IP アドレス部分を「SERVER」と記述します。 (記述方法) 電話番号 SERVER !LCS403 のIPアドレス	
※本設定を行わなくても動作しますが、本設定を行うと発信までの待ち時間が短くなります。	

ユニキャスト一斉同報/会議通話用の設定

ユニキャスト一斉同報や会議通話を行う場合は、下記の設定をします。
 ※一部の機種にしかないパラメータもあります。

パラメータ名	設定内容
システム設定ファイル(syscnfg.ini)	
BLOCK	CODERに合わせて設定します。
CODER	G.711 または G.729A(一斉同報のみ) ※一斉同報/会議通話を行う全ての端末で設定を統一します。
CT_SET ※SP401、 DA401 のみ	0(即応答、リングバックトーンを再生しない)に設定します。 ※応答に時間がかかると一斉同報や会議通話の全体の開始が遅れたり、当該端末の放送受信や会議参加が遅れたりします。 ※一斉同報や会議通話で開始音を設定した場合、本パラメータを0にしないと呼び出し音(リングバックトーン)と開始音の両方が鳴ってしまいます。
BT_SET ※SP401、 DA401 のみ	終話音(ビジートーン)を鳴らしたくない場合、0に設定します。 ※一斉同報や会議通話で終了音を設定した場合、本パラメータを0にしないと終了音と終話音の両方が鳴ってしまいます。

マルチキャスト一斉同報受信用の設定

マルチキャスト一斉同報受信端末には、下記の設定をします。
 ※同報元端末には P.32 の共通設定のみ行います。

パラメータ名	設定内容
システム設定ファイル(syscnfg.ini)	
BLOCK	CODERに合わせて設定します。
CODER	G.711 または G.729A ※一斉同報を行う全ての端末で設定を統一します。
MCH_IP	LCS403 のsyscnfg.iniのMCH_IPと同じ値を設定します。
MCH_PORT	LCS403 のsyscnfg.iniのMCH_PORTと同じ値を設定します。
MCS_TYPE	LCS403 の放送プロトコルを設定します。 LCS403 のsyscnfg.iniのMCS_TYPEと同じ値を設定します。
マルチキャスト受信設定ファイル(server.ini)	
MCH	受信する放送CH番号を設定します。

第5章 LCS403 の設定方法

この章では、LCS403 を設定するための手順等について説明します。

- 設定画面ログイン方法
- 設定画面について
- 設定画面のメニューについて
- メンテナンスモード
- 初期化の方法



メモ 設定方法について

LCS403 は、お客様のパソコンの Web ブラウザより必要な設定をして頂きます。

設定変更の際は本書をよくお読みになり、正しく設定をしてください。

設定画面ログイン方法

LCS403 を設定するための、設定画面のログイン方法について説明します。

1 本体に電源を入れます。

本体に添付のACアダプタとLANケーブルを接続します。
 本体のLEDが待機状態になっているか確認をしてください。
 LEDについて(P.12)

【出荷時設定】

本体の IP アドレス(IP)	192.168.1.24
ネットマスク	24(255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ(ROUTER)	192.168.1.1
HTTP ポート番号(HTTPD_PORT)	8084
ユーザ名	admin ※変更不可
パスワード	admin

注意 設定時の注意

- ・設定用のパソコンとLCS403 は、IPネットワーク(IPv4)で接続できる必要があります。パソコンのネットワーク設定をLCS403 に合わせ、同一セグメント内(推奨)から接続してください。 ※P.125 参照
- ・パスワードはセキュリティの観点から変更することを推奨いたします。パスワードは他人に知られないようにしてください。
- ・設定時には、本体のLEDが正常動作しているかご確認ください。LCS403 が通話中の場合に設定を変更すると、再起動が発生し通話が切断されますのでご注意ください。

2 パソコンのWebブラウザを起動します。

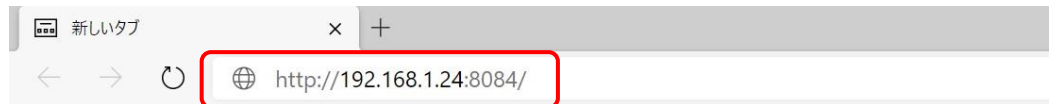
【Webブラウザとは】

Webページを閲覧するためのアプリケーションソフトです。
弊社で動作確認済みのWebブラウザは、以下の通りです。

- ・Microsoft Edge
- ・Firefox
- ・Google Chrome

※WebブラウザのJavaScript機能を有効にしてご使用ください。

3 起動したら、Webブラウザのアドレスバーに「<http://192.168.1.24:8084/>」と入力し、[Enter]キーを押します。



<http://192.168.1.24:8084/>



LCS403 の IP アドレス



設定画面に接続するための
HTTP サーバのポート番号

※アドレスとポート番号は、出荷時設定（初期設定値）です。

設定を変更した場合には、設定後のIPアドレスとポート番号に置き換えてください。

- 4 ログイン画面になりましたら、ユーザ名とパスワードを入力し、「サインイン」をクリックします。
※ブラウザにより表記が異なります



ユーザー名 admin

パスワード

サインイン キャンセル

ユーザ名 : admin
パスワード : admin
半角小文字で入力してください

 **注意** パスワードについて

ご購入時や初期化時は、パスワードが初期値となります。
設定画面からパスワードを変更することができますので、セキュリティ上、パスワードを変更して使用することを推奨いたします。
また、パスワードは他人に知られないようにしてください。

 **メモ** ページが上手く表示できない場合の対処方法

以下の項目をご確認ください

- ・ LCS403 のLEDが待機状態であるか
- ・ LANケーブルが奥までしっかりと接続されているか
(ケーブルはカチッと音がするまで差し込んでください)
- ・ LANケーブルが接続されているHUB等のネットワーク機器のランプがアクティブな状態になっているか
- ・ 設定するパソコンのネットワーク設定が適切か
- ・ IPアドレスおよびポート番号の値が適切か
- ・ IPアドレスとポート番号の間が「:」(半角コロン)になっているか
- ・ パソコンのコマンドプロンプトより「ping 192.168.1.24」にて通信が確認できるか

5 下記のような画面が表示されたら、設定画面へのログイン完了です。

LAN de VOICE

LCS403 | LCS403 | SN2016714

LCS403 設定画面

LANdeVOICEをお買い上げいただき、ありがとうございます。
取扱説明書や最新のファームウェアは下記サイトをご確認ください。
製造元：株式会社エイツー
Webサイト: <https://www.a-2.co.jp/landevoice/>

▶ 端末情報

端末名	LCS403	点滅
製品名	LCS403	
SN	2016714	
MAC	00:10:43:14:41:4a	
リリース	1.0.0_rc8	

▶ 基本設定ファイル (netcfg.ini)

変更したい箇所を直接書き換えて画面下部の"設定変更"ボタンを押してください。
入力は全て半角文字を使用してください。

IPアドレス/ ネットマスク	192.168.1.24 / 24 (255.255.255.0)
デフォルト ゲートウェイ	192.168.1.1
端末名	LCS403 半角英数字、ピリオド、ハイフンを使用できます。 最大20文字。
HTTPポート番号	8084 0を設定すると設定画面が開かなくなります。
製品モード	呼制御

キャンセル

設定変更

端末管理システム >>

ログ確認 >>

バックアップファイル作成 >>

ファイル送信/
バックアップファイル復元 >>

設定画面について

設定画面については、以下のようになっています。
 設定は、直接書き換えることができます。
 「キャンセル」ボタンを押すと、変更内容をキャンセルします。

端末情報

端末管理システムリンクボタン詳細については第 7 章に記載

設定画面メニュー

システム設定 (syscnfg.ini) 設定値については第 6 章に記載

システム設定変更 キャンセルボタン

アクション設定変更 キャンセルボタン

基本設定 (netcnfg.ini) 設定値については第 6 章に記載

基本設定 (netcnfg.ini) キャンセルボタン

端末時刻設定

設定変更ボタン

設定ファイルを書き換えた後は、ページ下部にある「設定変更」ボタンを必ずクリックし、設定を反映させてください。

NTP サーバとの同期設定後、再度、すぐに同期したい場合は、「端末の時刻設定」の「再度 NTP サーバと時刻同期を行う」ボタンをクリックしてください。クリックすると、すぐに設定条件での同期を開始します。

設定画面のメニューについて

設定画面のメニューについて説明します。

①	ログ確認	»
②	バックアップファイル作成	»
③	ファイル送信/ バックアップファイル復元	»
④	PING実行	»
⑤	ログイン用パスワード変更	»
⑥	工場出荷時設定	»
⑦	端末再起動	»

- ① …現在の端末内部ログを取得(表示)します。
呼制御 / ユニキャスト同報 / マルチキャスト同報 の機能別に表示します。
・動作ログ(mlog):基本動作を記録したログです。
・通信ログ(cchlog):呼制御動作を記録したログです。
- ② …設定ファイルやログをパソコンに保存します。
設定完了後や修理を依頼いただく際は、バックアップファイルの作成・保存を推奨します。
2種類のファイル形式を選択可能です。
・全データを取得:圧縮データ tgz(tar.gz)形式(解凍ソフト例:Lhaplus)
・簡易データを取得:テキストデータ txt形式
- ③ …パソコン上で作成した各種設定ファイルを端末に転送できます。
ファームウェアのアップデートや、予め作成した設定ファイルなどを転送することができます。
万一故障してしまい修理に出す場合なども、予めバックアップファイルを保存しておくことで、修理返却後に修理前の設定に戻すことができます。
- ④ …IPアドレスを入力してpingを実行します。
IPv4 アドレスのみです(ホスト名は不可)
- ⑤ …設定画面ログイン時のパスワードを変更します(設定可能値は P.41 参照)。
- ⑥ …LCS403 の工場出荷時設定が記載されています。
工場出荷時設定に戻したい項目をチェックボックスにより選択し、ページ下部の「初期化する」ボタンをクリックすると、選択した項目の設定が工場出荷時設定に初期化されます。
- ⑦ …LCS403 本体を再起動します。
(通話中の場合は通話が切断されます)

- 設定画面ログイン時のパスワードについて
半角英数字、6 種類の半角記号、合計 5～30 文字で設定可能です。
※英字の大文字、小文字は区別されます

<設定可能値一覧>

1234567890
abcdefghijklmnopqrstuvwxyz
ABCDEFGHIJKLMNOPQRSTUVWXYZ
! (感嘆符)
(番号記号)
% (パーセント)
& (アンパサンド)
@ (単価記号)
_ (アンダーバー)

メンテナンスモード

一度電源(ACアダプタまたは、PoE受電の場合はLANケーブル)を抜き、本体背面のSW(プッシュスイッチ)を押しながら再度電源を投入すると、メンテナンスモード(全LEDが橙速点滅)で起動します。メンテナンスモードでは、ネットワーク設定やログイン設定が一時的に以下の出荷時設定になります。

端末のIPアドレスやパスワードがわからなくなった場合は、この方法でログインすることができます。

本体の IP アドレス(IP)	192.168.1.24
ネットマスク	24(255.255.255.0)
デフォルトゲートウェイ(ROUTER)	192.168.1.1
HTTP ポート番号(HTTPD_PORT)	8084
ユーザ名	admin
パスワード	admin

ブラウザに以下のURLを指定することによって設定画面にアクセスすることができるようになります。

<http://192.168.1.24:8084/>

アクセスした設定画面には、元々設定していた設定値が表示されており、設定値を変更することも可能です。

メンテナンスモードを終了したい時は、SWを押さない状態で、再度電源抜き差し、または設定画面からの再起動を実行します。

初期化の方法

設定画面メニュー「工場出荷時設定」ページにて、初期化したい項目をチェックボックスにより選択し、ページ下部の「初期化する」ボタンをクリックすると、選択した項目が工場出荷時設定に初期化されます。

※パスワードを初期化したい場合は、「ログイン用パスワード変更」ページにて初期パスワードに変更します。

第6章 設定ファイル一覧

この章では、LCS403を設定するための各種設定ファイルについて説明します。

- 基本設定ファイル (netcnfg.ini)
- システム設定ファイル (syscnfg.ini)
- アクション設定ファイル (action.ini)

基本設定ファイル (netcnfg.ini)

主にネットワークに関する基本情報の設定ファイルです。
 変更したい箇所を直接書き換えて「設定変更」ボタンを押してください。
 ※全て半角文字で記述してください。

このファイルで設定できる項目は下表の通りです。

項目名	説明	設定可能値	出荷時設定
IPアドレス/ ネットマスク	LCS403 のIPアドレスとネットマスクを設定します。 ネットワークに合わせて設定してください。 IP: 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ネットマスク: 該当するビット数 を選択してください。	固定IPアドレス ネットマスク (IPv4 のみ)	IPアドレス: 192.168.1.24 ネットマスク:24 ビット (255.255.255.0)
デフォルト ゲートウェイ	接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイIPアドレスを設定します。 ・ネットワークに合わせて設定してください。 ・数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ・デフォルトゲートウェイが無い場合には、設定不要です。 ・設定を削除する場合は空欄にしてください。	IPアドレス (IPv4 のみ)	192.168.1.1
端末名	端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます) ・先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可) ・末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可) (記述例 abc-123) 無記述時は機種名が表示されます。	最大 20 文字 半角英数字 “ - ” (ハイフン) “ . ” (ピリオド)	機種名が表示されます
HTTPポート 番号	設定画面に接続するためのHTTPサーバポート番号を設定します。 セキュリティ上、設定画面へのアクセスを拒否したい場合は「0」を設定してください。	0~65535	8084
製品モード	使用する機能を選択する設定です。 【設定可能値】 呼制御 呼制御+ユニキャスト同報 呼制御+マルチキャスト同報	左記参照	呼制御
NTPサーバ IPアドレス	時刻同期に使用するNTPサーバのIPアドレスを設定します。 ※ドメイン名での設定はできません。	IPアドレス (IPv4 のみ)	未設定

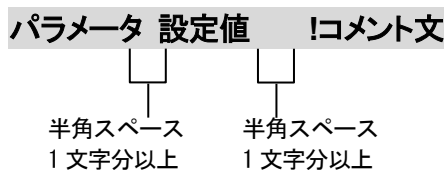
システム設定ファイル (syscnfg.ini)

システムに関する設定ファイルです。
パラメータの記述方法と編集ルールは以下の通りです。

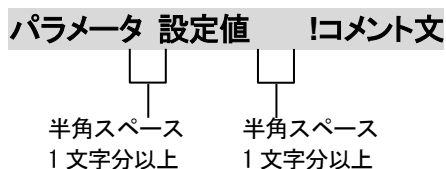
呼制御関連のパラメータを設定する CCS セクション、ユニキャスト同報関連のパラメータを設定する UCS セクション、マルチキャスト同報関連のパラメータを設定する MCS セクションがあります。

必ず該当するセクションに記述する必要があります。

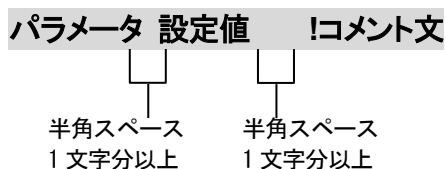
[CCS]



[UCS]



[MCS]



<編集ルール>

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- パラメータ名と設定値は必ず 1 行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
「!(半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字および半角文字が使用可能です。
また、行頭に「！」が付いている行の設定は無効になります。

システム設定ファイル(syscnfg.ini)に設定できるパラメータは下表の通りです。

■CCSセクション設定

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
CIRT	<p>代表電話番号設定(同じ電話番号で複数の端末を呼び出す設定)の最初の着信先を設定します。</p> <p>ON: 都度着信先が入れ替わっていく OFF: 一番上の宛先に着信させる</p> <p>※代表電話番号の設定方法についてはP.57、88をご覧ください。 ※着信順の詳細についてはP.124をご覧ください。</p> <p>(記述例 CIRT OFF)</p>	ON OFF	ON
PAIR_SERVER	<p>LCS403を冗長化する場合の相手LCS403のIPアドレスを設定します。</p> <p>本設定を行うと、冗長化するLCS403同士の端末管理システムデータが自動的に同期されます。</p> <p>(記述例 PAIR_SERVER 192.168.1.100)</p>	IPアドレス (IPv4のみ)	未設定
PLUR_SETUP	<p>複数台一斉呼出の設定をします。</p> <p>設定された電話番号で呼び出しがあった場合、その番号で登録された宛先に一斉に着信させます。</p> <p>※一斉呼出用の電話番号の設定方法についてはP.57、88をご覧ください。</p> <p>【登録可能数】 最大 50 グループ 1 グループ最大 10 件</p> <p>一行に複数の電話番号を記述することも、複数行に分けて記述することも可能です。</p> <p>(記述例) PLUR_SETUP 200 300 400 PLUR_SETUP 500 PLUR_SETUP 600</p>	23桁までの電話番号 0~9	未設定

■UCSセクション設定

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
TALK_DELAY	<p>ユニキャスト一斉同報や会議通話の開始音再生タイミングの遅延設定をします。</p> <p>放送機器に接続する場合等、放送機器の起動時間分遅延させることで放送の頭切れを防ぐことができます。</p> <p>(記述例 TALK_DELAY 3000)</p>	<p>0~10000 単位:ミリ秒</p>	0
WAITCONN	<p>ユニキャスト一斉同報や会議通話が開始されるまでの接続待ちタイマーを設定します。</p> <p>本パラメータで設定した秒数以内に接続できなかった端末についてはP.22、23を参照してください。</p> <p>(記述例 WAITCONN 5)</p>	<p>1~60 単位:秒</p>	5

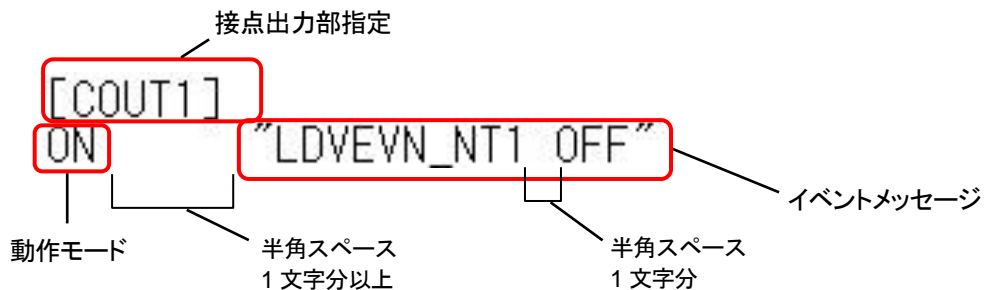
■MCSセクション設定

パラメータ名	説明	設定可能値	出荷時設定
MCH_IP	<p>マルチキャスト一斉同報を行う時の呼制御用IPアドレスを設定します。 クラスDを使用してください。</p> <p>MCS401 からマルチキャスト一斉同報を受信する全てのLANdeVOICE端末を同じ設定にしてください。 設定が異なると放送を受信できません。</p> <p>マルチキャスト一斉同報の音声通信用IPアドレスは、本パラメータで設定したIPアドレスの第 4 オクテットに+1した値で順番に使用されます。 例) MCH_IP 224.129.65.33 の場合 224.129.65.34、224.129.65.35、…と使用される。</p> <p>(記述例 MCH_IP 224.129.65.33)</p>	IPアドレス (クラスD、IPv4のみ)	224.129.65.33 ※MTSV-aの 出荷時設定 と同じ
MCH_PORT	<p>マルチキャスト一斉同報を行う時の呼制御用ポート番号を設定します。</p> <p>MCS401 からマルチキャスト一斉同報を受信する全てのLANdeVOICE端末を同じ設定にしてください。 設定が異なると放送を受信できません。</p> <p>(記述例 MCH_PORT 5000)</p>	1~65535	5000
MCS_TYPE	<p>マルチキャスト一斉同報サーバの放送プロトコルを設定します。</p> <p>0: 放送受信端末がKA02、SP401、PBSP403 の場合 (MTSV-a) 1: 放送受信端末がPBSPシリーズ、SP401、PBSP403 の場合 (MTSV)</p> <p>※SP401、PBSP403 は設定により変更可能です。</p> <p>(記述例 MCS_TYPE 0)</p>	0 1	0
TCH_BASE	<p>マルチキャスト一斉同報を行う時の音声通信用ポート番号を設定します。</p> <p>設定値を基準に+2 ずつ値が増え、最大 20 ポート使用します。 例)TCH_BASE 5002 の場合 5002~5042 の範囲で最大 20 ポート使用する。</p> <p>※MCH_PORTと異なる値を設定してください。</p> <p>(記述例 TCH_BASE 5002)</p>	1~65535	5002

アクション設定ファイル (action.ini)

端末の状態により接点を動作(ON/OFF)させる事ができます。

記述例



接点出力部指定

C.OUT1、C.OUT2 の順に記述してください。順番を変えて設定すると、正常に動作しない場合があります。

記述名	説明	出荷時設定
[COUT1]	C.OUT1 接点出力動作を指定します。 接点出力 1 に関する設定を[COUT1]の下に記述して下さい。 ※必ず記述してください。	[COUT1]
[COUT2]	C.OUT2 接点出力動作を指定します。 接点出力 2 に関する設定を[COUT2]の下に記述して下さい。 ※必ず記述してください。	[COUT2]

動作モード説明

動作モード	説明
ON	接点をON(ショート)します。
OFF	接点をOFF(解放)します。
SB	スローブリンク。ゆっくりしたON/OFF。 1 秒周期でON、OFFを繰り返します。
FB	ファーストブリンク。速いON/OFF。 0.1 秒周期でON、OFFを繰り返します。
OS [パルス幅]	ワンショット。接点をn mSec ON(ショート)します。 パルス幅の単位はミリ秒 100 ミリ秒から 60000 ミリ秒(1 分)まで設定可能 デフォルト値は 100ms

動作モード設定およびイベントメッセージ

動作モード	イベントメッセージ	接点出力動作
ON OFF SB FB OS	"LDVEVN_NT1 OFF"	ネットワークリンクダウン時
	"LDVEVN_NT1 ON"	ネットワークリンクアップ時
	"LDVEVN_SYNC DOWN"	同期設定時に相手サーバと同期できていない状態
	"LDVEVN_SYNC UP"	同期設定時に相手サーバと同期できている状態
	"LDVEVN_CCS START"	起動後の呼制御処理準備完了時
	"LDVEVN_DICT UPDATE"	動的IP管理の端末のIPアドレス更新時(約 35 分経過後)
	"LDVEVN_DICT REMOVE"	動的IP管理の端末の電話番号を未登録にしていた場合に、 端末がLCS403 に接続されなくなった時

設定例

	動作	記述例
1	ネットワークリンクダウン時にC.OUT1 をON、リンクアップ時にOFF。	[COUT1] ON "LDVEVN_NT1 OFF" OFF "LDVEVN_NT1 ON"
2	相手サーバと同期できていない時にC.OUT1 を遅いON/OFF、同期できたらOFF。	[COUT1] SB "LDVEVN_SYNC DOWN" OFF "LDVEVN_SYNC UP"
3	動的IP管理の端末のIPアドレスが更新された時にC.OUT2 を 1 秒間ワンショット。	[COUT2] OS 1000 "LDVEVN_DICT UPDATE"

第7章 端末管理システム

この章では、端末管理システムについて説明します。

※新規で LCS403 を導入する場合は、この章をご覧ください。

※CPS8 から LCS403 へリプレイスする場合は便利な手順や注意事項があるため、この章および P.119 を併せてご覧ください。

- 端末管理システムWeb画面ログイン方法
- LANdeVOICE端末情報の登録、閲覧、編集
- 端末状態確認表示
- ユニキャスト一斉同報/会議通話の設定
- マルチキャスト一斉同報の設定
- CSV入力による設定

端末管理システムWeb画面ログイン方法

LCS403 で電話番号管理や呼制御を行うための、端末管理システムWeb画面のログイン方法について説明します。

- 1 LCS403 の設定画面にログインします。
- 2 端末管理システムリンクボタンをクリックします。

The screenshot shows the LANdeVOICE web interface for the LCS403 device. The page title is 'LCS403 設定画面'. There are two main sections: '端末情報' (Device Information) and '基本設定ファイル (netcnfg.ini)' (Basic Configuration File). The '端末情報' section contains fields for '端末名' (LCS403), '製品名' (LCS403), 'SN' (2016714), 'MAC' (00:10:43:14:41:4a), and 'リリース' (1.0.0_rc8). The '基本設定ファイル' section contains fields for 'IPアドレス/ネットマスク' (192.168.1.24 / 24 (255.255.255.0)), 'デフォルトゲートウェイ' (192.168.1.1), '端末名' (LCS403), 'HTTPポート番号' (8084), and '製品モード' (呼制御). A red box highlights the '端末管理システム' link in the left sidebar. A '設定変更' button is at the bottom.

※WebブラウザのアドレスバーにURLを直接入力する場合は、以下を入力してください。

「http://[LCS403 のIPアドレス]:8080/LdVManager」

“ [” 及び “ ” ” は実際には不要です。

- 3 ログイン画面になったらユーザ名とパスワードを入力し、「OK」をクリックします。ユーザ名とパスワードはLCS403 の設定画面にログインするためのものと同様です。

- 4 下記のような画面が表示されたら、端末管理システムWeb画面へのログイン完了です。

LANdeVOICE 端末情報 (P.54)

端末状態確認 (P.59)

ユニキャスト (P.62) / マルチキャスト (P.71) CSV 入力 (P.84)

同期ステータス: 同期正常(2001-01-31 16:38:51) / 更新回数: データベース[14], チャイム(ユニキャスト)[0]

検索対象列: 電話番号 検索ワード:

検索結果 表示件数: 3件中 1-3件

動的ポート番号 端末情報変更日時

	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	100	0	192.168.1.93	4445	管理部 PB402
2	200	0	192.168.1.94	4445	第1工場 SP401
3	300	0	192.168.1.95	4445	第2工場 SP401

最初のページへ 一つ前へ 1 一つ次へ 最後のページへ

ページを再読み込み 端末管理システム ver.1.0.0_rc8 Copyright (C) 2016-2023 A2 Corp. All Rights Reserved.

メモ ページが上手く表示できない場合の対処方法

以下の項目をご確認ください

- ・ LCS403 のLEDが待機状態であるか
- ・ URL直接入力の場合、IPアドレスおよびポート番号の値(8080)が適切か
IPアドレスとポート番号の間が「:」(コロン)になっているか
「LdVManager」部分の記述が正しいか

注意 画面アクセスの重複による負荷について

端末管理システムWeb画面に複数のパソコンから同時にアクセスしたり、1台のパソコンで重複して画面を開いたりすると、重複した分だけネットワークに負荷がかかります。同時アクセスは2台までを推奨します。また、1台のパソコンで重複して開かないようご注意ください。

LANdeVOICE端末情報の登録、閲覧、編集

「LANdeVOICE端末情報」タブは、端末管理システムWeb画面ログイン時に開かれているタブです。このタブでは、LANdeVOICE端末の情報を登録、閲覧、編集することができます。

1 一覧

ログイン時または「LANdeVOICE端末情報」タブを開いた時に表示される画面です。LCS403をサーバとして登録している全LANdeVOICE端末の情報を閲覧できます。

The screenshot shows the LANdeVOICE terminal management interface for server LCS403. It includes a navigation bar with tabs for 'LANdeVOICE端末情報', 'ユニキャスト', 'CSV入力', and '端末状態確認'. A search form is present with a dropdown for '検索対象列' (set to '電話番号') and a '検索' button. Below the search form is a table of terminal information with columns for '電話番号', 'シリアル番号', 'IPアドレス', 'ポート番号', and 'コメント'. The table contains three entries. Callouts point to various UI elements: ① '登録' button, ② search form, ③ sorting options (動的ポート番号, 端末情報変更日時), ④ table headers, ⑤ '変更' buttons, ⑥ pagination controls, and ⑦ 'ページを再読み込み' button.

メモ 端末のIPアドレス表示について

- ・固定IP (P.56、57 参照) の場合、設定したIPアドレスが表示されます。
- ・動的IP (P.56、57 参照) の場合、端末の現在のIPアドレスが表示されません。
35分以上通信できなかった場合、およびIPアドレスリセット時 (P.85 参照) に端末からステータス通知が来るまでの間は「切断」と表示されます。
※固定IPの場合は「切断」表示がされません。
- ・端末のリアルタイムの通信状態は「端末状態確認」タブで確認してください。

<各部解説>

①端末の新規登録

クリックすると、「LANdeVOICE 端末情報登録」画面(P.56 参照)が表示されます。

②検索フォーム

「一覧」に表示する端末の条件を絞り込みできます。

「検索対象列」で指定した列に「検索ワード」で入力した文字が含まれている端末のみを表示させます。

・「検索対象列」は以下のいずれかから選択できます。

「電話番号」「シリアル番号」「IP アドレス」「ポート番号」「コメント」

・検索ワードの入力可能文字

電話番号	半角数字、" 未登録 "
シリアル番号	半角数字
IP アドレス	半角数字、"."(ピリオド)、" 切断 "
ポート番号	半角数字
コメント	半角全角文字、記号

③オプション項目の表示 / 非表示切替

チェックボックスをクリックすると、オプション項目列の表示、非表示を切り替えることができます。

・端末情報変更日時：最後に端末情報を変更した日時が表示されます。

・動的ポート番号：ポート番号が「動的ポート番号」で登録されている端末にチェックが入ります。

④項目別にソート

ソート可能な項目名はクリックできるようになっています。クリックすると、各項目の列で表示結果をソートします。

ソート順はクリックのたび、昇順、降順 の順で切り替わります。

出荷時状態では電話番号の昇順でソートされています。

⑤端末情報の変更

クリックすると、端末情報変更画面(P.58 参照)が表示されます。

⑥ページ再読み込み

クリックすると、検索条件、ソート条件、ページ送りを保ったままページを再読み込みします。

⑦ページ送り

表示結果のページ送りができます。

2 登録

P.54 の①のボタンをクリックすると、「LANdeVOICE端末情報登録」画面が表示され、端末情報の新規登録を行うことができます。

ここでは、LCS403 に接続予定のLANdeVOICE端末の情報を事前に登録します。

端末が固定IPの場合：電話番号、IPアドレス、ポート番号

端末が動的IPの場合：電話番号、シリアル番号、ポート番号

※赤字、赤枠は入力必須項目です。

LANdeVOICE端末情報登録

LANdeVOICE端末の登録を行います

IPアドレスを入力してください
ポート番号を入力してください

電話番号	<input type="text"/>
IPアドレス	固定IP <input type="button" value="v"/> <input type="text"/>
ポート番号	固定ポート番号 <input type="button" value="v"/> <input type="text"/>
コメント	<input type="text"/>

実行 閉じる

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、下記のような確認ダイアログが表示されます。ここで「OK」ボタンをクリックすると、登録が完了します。

登録された端末情報は即座に反映されます。

LANdeVOICE端末情報登録

LANdeVOICE端末の登録を行います

電話番号	<input type="text" value="500"/>
IPアドレス	固定IP <input type="button" value="v"/> <input type="text" value="192.168.1.97"/>
ポート番号	固定ポート番号 <input type="button" value="v"/> <input type="text" value="4445"/>
コメント	<input type="text" value="第3会議室 SP401 スピーカ"/>

実行 閉じる

よろしいですか?
OK キャンセル



メモ 登録時のエラーについて

- ・入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで登録を実行できません。
- ・LANdeVOICE端末の登録件数が 800 件を超える場合、「実行」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。

<各項目欄解説>

電話番号

登録する端末を呼び出すための電話番号を設定します。

- ・半角数字の他、"[]"(省略)や"<>"(追加)等、LANdeVOICE 端末の電話番号設定ファイル(phone.ini)にて記述可能な文字、表記を入力することができます。
- ・23 桁まで入力可能です。
- ・電話番号を入力せず登録を実行した場合、「一覧」では「未登録」と表示されます。

IP アドレス

登録する端末の IP アドレスを入力します。

- ・固定 IP / 動的 IP を選択します。
- ・固定 IP の場合に IP アドレスを入力します。

シリアル番号

※IP アドレスで動的 IP を選択すると入力欄が表示されます。

登録する端末のシリアル番号を入力します。

- ・半角数字のみ入力可能です。
- ・先頭の「0」は省略されて画面表示されます。

例) 入力シリアル番号 0400000 → 画面表示シリアル番号 400000

※固定 IP の場合は画面表示は「0」となります。

ポート番号(登録する端末のパラメータ「CCH」参照)

登録する端末で使用するポート番号の設定をします。

ポート番号は登録する端末のパラメータ「CCH」の値です(メモ参照)。

- ・固定ポート番号 / 動的ポート番号 を選択します。
- ・通常は固定ポート番号を選択し、使用するポート番号を入力します。
0~65535 の半角数字のみ入力可能です。

※動的ポート番号は動的 IP 時のみ設定できます。動的ポート番号にすると、端末からのステータス通知の際に CCH の値を自動的に反映します。すなわち 1 回線目のポート番号しか表示できないため、2 回線を使用する場合は必ず固定ポート番号を設定してください。

コメント

登録する端末に関するコメントを自由に入力できます。

- ・半角全角 30 文字まで入力可能です。



メモ 2 回線モデル端末で 2 回線とも使用する場合の設定

- ・2 件に分けて考え、異なる電話番号と同じ IP アドレスまたはシリアル番号を設定します。
- ・1 回線分登録後の確認画面で「続けて別回線を登録する」ボタンをクリックすると 2 回線目の登録が簡単にできます。
- ・ポート番号に CCH の値を入力した方が 1 回線目(ch.1)、CCH の値 + 1 を入力した方が 2 回線目(ch.2)になります。

3 変更

P.54 の⑤のボタンをクリックすると、「LANdeVOICE端末情報変更」画面が表示され、登録済みの端末情報の変更を行うことができます。

LANdeVOICE端末情報変更

LANdeVOICE端末情報の変更を行います

	変更前	変更後
電話番号	100	<input type="text" value="500"/>
IPアドレス	固定IP 192.168.1.93	<input type="text" value="動的IP"/>
シリアル番号	0	<input type="text" value="2000001"/>
ポート番号	固定ポート番号 4445	<input type="text" value="固定ポート番号"/> <input type="text" value="4446"/>
コメント	管理部 PB402 電話機	<input type="text" value="会議室 PBSP403 内蔵スピーカ"/>

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、変更が完了します。変更後の端末情報は即座に反映されます。

各項目欄についての詳細は、「LANdeVOICE端末情報登録」画面とほぼ同様です。

■削除

「LANdeVOICE端末情報変更」画面で「削除」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、該当の端末情報が即座に削除されます。

一度削除した端末情報は元に戻すことができません。



メモ 変更時のエラーについて

入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで変更を実行できません。



メモ 新規登録前の端末接続について

- ・新規登録の前に端末を接続すると、端末管理システムには自動的に電話番号未登録/動的IP設定でテーブルが追加されます。このテーブルは変更画面にて電話番号登録をすることができます。
- ・変更画面で電話番号登録をすると、登録後の確認画面で「続けて別回線を登録する」ボタンが表示されます。2回線モデル端末で2回線とも使用する場合はこのボタンをクリックすると2回線目の登録が簡単に行えます(固定ポート番号に設定する必要があります)。

端末状態確認表示

「端末状態確認」タブをクリックすると、Webブラウザの新規タブまたはウィンドウが開きます。このタブでは、端末管理システムに登録されたLANdeVOICE 端末および LCS403 の通信状態を確認することができます。

①CCS セクション

UCS/MCS セクションの通信ステータス

③オプション項目の表示 / 非表示切替

②検索フォーム

④項目別にソート

LCS403

端末状態確認

LANdeVOICE端末および各サーバの通信状態を確認できます

同期ステータス: 同期正常(2001-01-31 16:46:59) / 更新回数: データベース[14], チャイム(ユニキャスト)[0]

各サーバのステータス	通信ステータス	IPアドレス	ポート番号
CCS401	● 正常	192.168.1.91	4445
UCS401	● 正常(5回線中、0回線使用中)	127.0.0.1	5446

検索対象列: 電話番号 検索ワード:

正常端末を表示する 異常端末を表示する

検索結果 表示件数: 3件中 1-3件

接続/切断日時 動的ポート番号

通信ステータス	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
● 待機中	100	0	192.168.1.93	4445	管理部 PB402
● 待機中	200	0	192.168.1.94	4445	第1工場 SP401
● 異常	300	0	192.168.1.95	4445	第2工場 SP401

最初のページへ 一つ前へ 1 一つ次へ 最後のページへ

ページを再読み込み

端末管理システム ver.1.0.0_rc8 Copyright (C) 2016-2023 A2 Corp. All Rights Reserved.

⑤端末の通信ステータス

⑥ページ再読み込み

⑦ページ送り



注意 タブの重複について

「端末状態確認」タブを重複して開くと、その分ネットワークに負荷がかかります。極力重複しないようご注意ください。

<各部解説>

①CCS セクション・UCS/MCS セクションの通信ステータス

LCS403 の通信状態が表示されます。通信状態は 5 秒毎に自動更新されます。
色表示と通信状態の関係は以下の通りです。

色表示	表示内容	LCS403 の状態
緑点灯	正常	利用可能
赤点灯	異常	システム異常
	HTTP エラー	LCS403 と Web ブラウザ間で HTTP 通信が行えていない 一度端末管理システムを閉じ、再度 LCS403 設定画面から端末管理システムを起動してください。画面が表示できなければ、LCS403 の接続状況を LED 等で確認してください。

②検索フォーム

「一覧」に表示する端末の条件を絞り込みできます。

「検索対象列」で指定した列に「検索ワード」で入力した文字が含まれている端末のみを表示させます。

・「検索対象列」は以下のいずれかから選択できます。

「電話番号」「シリアル番号」「IP アドレス」「ポート番号」「コメント」

・検索ワードの入力可能文字

電話番号	半角数字、" 未登録 "
シリアル番号	半角数字
IP アドレス	半角数字、"."(ピリオド)、" 切断 "
ポート番号	半角数字
コメント	半角全角文字、記号

・「正常端末を表示する」にチェックを入れると、通信ステータスが「正常」、「通話中」の端末を表示します。

・「異常端末を表示する」にチェックを入れると、通信ステータスが「異常」の端末を表示します。

③オプション項目の表示 / 非表示切替

チェックボックスをクリックすると、オプション項目列の表示、非表示を切り替えることができます。

・接続 / 切断日時: 接続中の場合は端末が最後に接続を開始した日時が、切断中の場合は端末が切断した日時が表示されます。

・動的ポート番号: ポート番号が「動的ポート番号」で登録されている端末にチェックが入ります。

④項目別にソート

ソート可能な項目名はクリックできるようになっています。クリックすると、各項目の列で表示結果をソートします。

ソート順はクリックのたび、昇順、降順 の順で切り替わります。

出荷時状態では電話番号の昇順でソートされています。

⑤端末の通信ステータス

端末の通信状態が表示されます。

通信ステータスとその他の端末情報は自動更新されます。

色表示と通信状態の関係は以下の通りです。

色表示	表示内容	端末の状態
緑点灯	待機中	待機状態。該当端末に対して発信可能
橙点灯	通話中	通話状態
赤点灯	異常	ネットワークから切断されている
	削除された端末です	登録が削除された状態 ※削除後、ページを再読み込みするまで表示
	HTTP エラー	LCS403 と Web ブラウザ間で HTTP 通信が行えていない 一度端末管理システムを閉じ、再度 LCS403 設定画面から端末管理システムを起動してください。画面が表示できなければ、LCS403 の接続状況を LED 等で確認してください。

⑥ページ再読み込み

クリックすると、検索条件、ソート条件、ページ送りを保ったままページを再読み込みします。

⑦ページ送り

表示結果のページ送りができます。

ユニキャスト一斉同報・会議通話の設定

「ユニキャスト」タブでは、ユニキャスト一斉同報や会議通話の設定を行います。

1 一覧

「ユニキャスト」タブを開いた時に表示される画面です。登録された一斉同報や会議通話の全グループの情報を閲覧できます。

①グループの新規登録 ②項目別にソート

③グループ設定の変更 ④ページ再読み込み ⑤音源情報の変更

	グループの種類	電話番号	グループ名	発信番号	呼び出し先	開始音	終了音	オプション
1	一斉同報	777	緊急放送	100	200 (第一会議室 SP401 スピーカ) 300 (第二会議室 SP401 スピーカ) 400 (営業部 PBSP403 内蔵スピーカ)	サイレン	終了チャイム	
2	会議通話	888	本社内会議	100	100 (管理部 PBSP403 マイク・スピーカ) 200 (第一会議室 SP401 スピーカ) 300 (第二会議室 SP401 スピーカ) 400 (営業部 PBSP403 内蔵スピーカ)	開始チャイム	終了チャイム	

端末管理システム ver.1.0.0_rc8 Copyright (C) 2016-2023 A2 Corp. All Rights Reserved.

<各部解説>

①グループの新規登録

クリックすると、「ユニキャストグループ登録」画面(P.64 参照)が表示されます。

②項目別にソート

ソート可能な項目名はクリックできるようになっています。クリックすると、各項目の列で表示結果をソートします。

ソート順はクリックのたび、昇順、降順 の順で切り替わります。

出荷時状態では電話番号の昇順でソートされています。

③グループ設定の変更

クリックすると、「ユニキャストグループ変更」画面(P.68 参照)が表示されます。

④ページ再読み込み

クリックするとソート条件を保ったままページを再読み込みします。

⑤音源情報の変更

クリックすると、「ユニキャスト音源情報変更」画面(P.69 参照)が表示されます。

2 登録

P.62 の①の登録ボタンをクリックすると、「ユニキャストグループ登録」画面が表示され、ユニキャスト一斉同報や会議通話の新規グループ登録を行うことができます。

※赤字、赤枠は入力必須項目です。

※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

ユニキャストグループ登録

ユニキャスト放送または会議通話のグループを登録します

電話番号を入力してください
グループ名を入力してください
発信者番号を入力してください

電話番号	<input style="width: 90%;" type="text" value="半角数字を入力してください"/>	
発信者番号	<input type="text" value="発信者制限をする"/> ▼	<input style="width: 80%;" type="text" value="半角数字を入力してください"/>
グループ名	<input style="width: 95%;" type="text" value="入力してください(最大30文字)"/>	
開始音	<input type="text" value="チャイム1"/> ▼	▶
終了音	<input type="text" value="チャイム129"/> ▼	▶
グループの種類	<input type="text" value="一斉同報"/> ▼	
オプション	<input style="width: 95%;" type="text"/>	

呼び出し先
右のリストから呼び出し先を選択してください(0/100)

<< 更新(1/1) >>

100 (管理部 PBSP403 マイク・スピーカ)
200 (第一会議室 SP401 スピーカ)
300 (第二会議室 SP401 スピーカ)
400 (営業部 PBSP403 内蔵スピーカ)

✕ 取り消す
← 追加する

実行
閉じる

メモ 登録時のエラーについて

- ・入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで登録を実行できません。
- ・ユニキャストグループの登録件数が100件を超える場合、「実行」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、下記のような確認ダイアログが表示されます。ここで「OK」ボタンをクリックすると、登録が完了します。
登録されたグループ設定は即座に反映されます。

ユニキャストグループ登録

ユニキャスト放送または会議通話のグループを登録します

電話番号	<input type="text" value="777"/>
発信者番号	<input type="text" value="発信者制限をする"/> <input type="text" value="100"/>
グループ名	<input type="text" value="緊急放送"/>
開始音	<input type="text" value="サイレン"/> <input type="button" value="▶"/>
終了音	<input type="text" value="終了チャイム"/> <input type="button" value="▶"/>
グループの種類	<input type="text" value="一斉同報"/>
オプション	<input type="text"/>

よろしいですか？

呼び出し先
右のリストから呼び出し先を選択してください(3/100)

200 (第一会議室 SP401 スピーカ)

300 (第二会議室 SP401 スピーカ)

400 (営業部 PBSP403 内蔵スピーカ)

電話番号で検索します

100 (管理部 PBSP403 マイクスピーカ)

200 (第一会議室 SP401 スピーカ)

300 (第二会議室 SP401 スピーカ)

400 (営業部 PBSP403 内蔵スピーカ)

<各項目欄解説>

電話番号

登録するグループを呼び出すための電話番号を設定します。

- ・半角数字のみ
- ・23桁まで入力可能です。

発信者番号

発信者制限の有無及び、制限をする場合は発信者の電話番号を設定します。

- ・半角数字のみ
- ・23桁まで入力可能です。

グループ名

登録するグループの名称を設定します。


- ・半角でも全角でも30文字まで入力可能です。

開始音

一斉同報または会議通話の開始時に再生する音を選択します。

音源ファイルの名称設定を「ユニキャスト音源情報変更」ページ(P.69)にて行い、そこで設定した名称をこの項目で選択します。

- ・チャイム 1～20(工場出荷時の名称)
- ・再生しない


※右隣の再生ボタン  をクリックすると選択中の音源ファイルを試聴できます。

終了音

一斉同報または会議通話の終了時に再生する音を選択します。

音源ファイルの名称設定を「ユニキャスト音源情報変更」ページ(P.69)にて行い、そこで設定した名称をこの項目で選択します。

- ・チャイム 129～148(工場出荷時の名称)
- ・再生しない

※右隣の再生ボタン  をクリックすると選択中の音源ファイルを試聴できます。

グループの種類

一斉同報または会議通話を選択します。

オプション

【会議通話で自由参加機能を利用する場合】

以下のパラメータを設定してください。

`JOINFREE=ON`

※半角文字

※別途、システム設定ファイル(syscnfg.ini)の CCS セクションに以下のパラメータを設定してください。工場出荷時設定ではパラメータの記載がないため、パラメータごと(行ごと)追加してください。

`TRNS_SETUP ON`

呼び出し先

呼び出し先の電話番号を選択します。

- ・右側のリストに、現在登録されている LANdeVOICE 端末情報の一覧が 1 ページにつき 30 件表示されます。「更新」ボタンをクリックすると最新情報に更新されます。
- ・右側のリストから呼び出したい電話番号を選択し、リスト右下の「追加する」ボタンをクリックまたは「Enter」キーを押下すると、左側のリストに実際に呼び出す電話番号として追加されます。複数選択も可能です。
- ・追加した電話番号を取り消す場合は、左側のリストにて取り消したい電話番号を選択し、リスト右下の「取り消す」ボタンをクリックまたは「Delete」キーを押下します。複数選択も可能です。
- ・一斉同報の場合、左側のリストに追加できる電話番号は 100 件までです。
- ・会議通話の場合、左側のリストに追加できる電話番号は 20 件までです。
- ・通常の会議通話では、発信者制限の有無にかかわらず、全ての参加端末を左側のリストに追加してください。
- ・会議通話で自由参加機能を利用する場合でも、便宜上最低 1 件の任意の端末を追加してください。実際の自由参加型会議通話時にはここで追加した端末は特に呼び出されません。
- ・呼び出し先に登録できるのは半角数字および "[]" (省略)、" < > " (追加) の記号で構成された電話番号のみです。それ以外の電話番号は右側のリストに表示されません。

3 変更

P.62 の③の変更ボタンをクリックすると、「ユニキャストグループ変更」画面が表示され、登録済みのグループ設定の変更を行うことができます。
 ※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

ユニキャストグループ変更

ユニキャスト放送/会議通話のグループ設定を変更します

	変更前	変更後
電話番号	777	888
発信者番号	100	発信者制限をしない
グループ名	緊急放送	本社内会議
開始音	サイレン	開始チャイム
終了音	終了チャイム	終了チャイム
グループの種類	一斉同報	会議通話
オプション		JOINFREE=ON

呼び出し先
 右のリストから呼び出し先を選択してください(4/20)

電話番号で検索します << 更新(1/1) >>

200 (第一会議室 SP401 スピーカ)	100 (管理部 PBSP403 マイク・スピーカ)
300 (第二会議室 SP401 スピーカ)	200 (第一会議室 SP401 スピーカ)
400 (営業部 PBSP403 内蔵スピーカ)	300 (第二会議室 SP401 スピーカ)
100 (管理部 PBSP403 マイク・スピーカ)	400 (営業部 PBSP403 内蔵スピーカ)

有効/無効 取り消す 追加する

削除 実行 閉じる

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、変更が完了します。
 変更後のグループ設定は即座に反映されます。

各項目欄についての詳細は、「ユニキャストグループ登録」画面と同様です。

■削除

「ユニキャストグループ変更」画面で「削除」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、該当のグループ登録が即座に削除されます。

一度削除したグループ登録は元に戻すことができません。



メモ 変更時のエラーについて

入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで変更を実行できません。

4 音源情報の変更

P.62 の⑤の「音源情報変更」ボタンをクリックすると、「ユニキャスト音源情報変更」画面が表示され、一斉同報や会議通話で再生する開始音や終了音、入室音の変更を行うことができます。

※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

ユニキャスト音源情報変更

ユニキャスト一斉同報または会議通話で使用する音源情報を変更します(現在、0.14/20[MB])

開始音	名称	削除	終了音	名称	削除
1.wav/ 0.03MB	チャイム1	<input type="checkbox"/>	129.wav/ 0.03MB	チャイム129	<input type="checkbox"/>
2.wav/ 0.01MB	チャイム2	<input type="checkbox"/>	130.wav/ 0.01MB	チャイム130	<input type="checkbox"/>
3.wav/ 0.06MB	チャイム3	<input type="checkbox"/>	131.wav/ 0.00MB	チャイム131	<input type="checkbox"/>
4.wav/ 0.00MB	チャイム4	<input type="checkbox"/>	132.wav/ 0.00MB	チャイム132	<input type="checkbox"/>
5.wav/ 0.00MB	チャイム5	<input type="checkbox"/>	133.wav/ 0.00MB	チャイム133	<input type="checkbox"/>
6.wav/ 0.00MB	チャイム6	<input type="checkbox"/>	134.wav/ 0.00MB	チャイム134	<input type="checkbox"/>
7.wav/ 0.00MB	チャイム7	<input type="checkbox"/>	135.wav/ 0.00MB	チャイム135	<input type="checkbox"/>
8.wav/ 0.00MB	チャイム8	<input type="checkbox"/>	136.wav/ 0.00MB	チャイム136	<input type="checkbox"/>
9.wav/ 0.00MB	チャイム9	<input type="checkbox"/>	137.wav/ 0.00MB	チャイム137	<input type="checkbox"/>
10.wav/ 0.00MB	チャイム10	<input type="checkbox"/>	138.wav/ 0.00MB	チャイム138	<input type="checkbox"/>
11.wav/ 0.00MB	チャイム11	<input type="checkbox"/>	139.wav/ 0.00MB	チャイム139	<input type="checkbox"/>
12.wav/ 0.00MB	チャイム12	<input type="checkbox"/>	140.wav/ 0.00MB	チャイム140	<input type="checkbox"/>
13.wav/ 0.00MB	チャイム13	<input type="checkbox"/>	141.wav/ 0.00MB	チャイム141	<input type="checkbox"/>
14.wav/ 0.00MB	チャイム14	<input type="checkbox"/>	142.wav/ 0.00MB	チャイム142	<input type="checkbox"/>
15.wav/ 0.00MB	チャイム15	<input type="checkbox"/>	143.wav/ 0.00MB	チャイム143	<input type="checkbox"/>
16.wav/ 0.00MB	チャイム16	<input type="checkbox"/>	144.wav/ 0.00MB	チャイム144	<input type="checkbox"/>
17.wav/ 0.00MB	チャイム17	<input type="checkbox"/>	145.wav/ 0.00MB	チャイム145	<input type="checkbox"/>
18.wav/ 0.00MB	チャイム18	<input type="checkbox"/>	146.wav/ 0.00MB	チャイム146	<input type="checkbox"/>
19.wav/ 0.00MB	チャイム19	<input type="checkbox"/>	147.wav/ 0.00MB	チャイム147	<input type="checkbox"/>
20.wav/ 0.00MB	チャイム20	<input type="checkbox"/>	148.wav/ 0.00MB	チャイム148	<input type="checkbox"/>

入室音	名称	削除
join.wav/ 0.00MB	入室音	<input type="checkbox"/>
leave.wav/ 0.00MB	退室音	<input type="checkbox"/>

各設定を行い、「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、変更が完了します。

🏠 メモ 音源ファイルのバックアップと復元について

LCS403 の設定画面メニュー「バックアップファイル作成」をクリックすると、インストールされた音源ファイルを含んだバックアップファイルが作成されます。


バックアップした音源ファイルは、設定画面メニュー「ファイル送信／バックアップファイル復元」や、端末管理システムの「ユニキャスト音源情報変更」画面から復元できます。

<各項目欄解説>

■開始音・終了音


一斉同報や会議通話で再生する開始音や終了音について以下の操作が可能です。

【インストールされた音源の試聴】

再生ボタン  をクリックすると音源を試聴できます。

※工場出荷時のインストール音源内容については P.24 を参照してください。

【音源のインストール・変更】

方法①ファイル選択ボタン  をクリックし、任意の音源ファイルを選択します。

方法②任意の音源ファイルを選択して画面内にドラッグし、表示された破線枠内にドロップします。複数ファイルの一括インストールが可能です。

※方法①ではインストールしたい音源ファイルのファイル名を選択中のものと同じファイル名(1.wav、129.wav 等)にする必要があります。

※方法②では同じファイル名の各インストール済み音源ファイルに自動的に上書きされます。

※不適切なファイル名やファイル形式の音源ファイルが送信されるとエラーになります。ファイル形式についてはお問い合わせください。

※ファイルがインストールされていない音源枠は再生ボタンがグレーアウトしています。

【名称の変更】

「名称」欄を直接書き換えると名称を変更できます。


【音源ファイルの削除】

「削除」欄にチェックを入れた状態で「ユニキャスト音源情報変更」画面の変更を完了すると、該当ファイルが削除されます。

■入退室音

自由参加型会議通話で再生する入退室音について以下の操作が可能です。

【インストールされた音源の試聴】

再生ボタン  をクリックすると音源を試聴できます。

【音源のインストール・変更】

開始音・終了音と同様の方法で入室音・退室音のインストール・変更が可能です。

【音源ファイルの削除】

「削除」欄にチェックを入れた状態で「ユニキャスト音源情報変更」画面の変更を完了すると、該当ファイルが削除されます。

自由参加型会議通話中に入退室音を再生したくない場合は削除してください(ユニキャストグループごとの再生有無の設定はできません)。

マルチキャスト一斉同報の設定

「マルチキャスト」タブでは、マルチキャスト一斉同報の設定を行います。

1 放送チャンネル一覧

「マルチキャスト」タブを開いた時に表示される画面です。登録された一斉同報の全放送CHの情報を閲覧できます。

①放送チャンネルの新規登録

②項目別にソート

③放送チャンネルグループ一覧

④放送チャンネルグループの登録

⑤開始音・終了音名の変更

⑥放送チャンネル情報の変更

⑦ページ再読み込み

電話番号	チャンネル名	チャンネル番号	優先度	開始音	終了音	最終更新日時
9999	社内一斉放送	1	1	サイレン	チャイム129	2018-04-13 17:27:25
8888	会議室	2	10	チャイム1	チャイム130	2018-04-13 17:27:11
7777	営業部	3	50	なし	なし	2018-04-13 17:27:52

<各部解説>

①放送チャンネルの新規登録

クリックすると、「マルチキャスト放送チャンネル情報登録」画面(P.73 参照)が表示されます。

②項目別にソート

ソート可能な項目名はクリックできるようになっています。クリックすると、各項目の列で表示結果をソートします。

ソート順はクリックのたび、昇順、降順 の順で切り替わります。

出荷時状態では電話番号の昇順でソートされています。

③放送チャンネルグループ一覧

クリックすると、登録されている放送チャンネルグループの一覧が表示されます(P.77 参照)。

④放送チャンネルグループの登録

クリックすると、「マルチキャスト放送チャンネルグループ登録」画面が表示されます(P.79 参照)。

⑤開始音・終了音名の変更

クリックすると、「マルチキャスト音源情報変更」画面が表示されます(P.82 参照)。

⑥放送チャンネル情報の変更

クリックすると、「マルチキャスト放送チャンネル情報変更」画面(P.76 参照)が表示されます。

⑦ページ再読み込み

クリックするとソート条件を保ったままページを再読み込みします。

2 放送チャンネルの新規登録

P.71 の①の登録ボタンをクリックすると、「マルチキャスト放送チャンネル情報登録」画面が表示され、マルチキャスト一斉同報の新規放送CH登録を行うことができます。

※赤字、赤枠は入力必須項目です。

※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

マルチキャスト放送チャンネル情報登録

マルチキャスト放送チャンネルの登録を行います

電話番号を入力してください
チャンネル名を入力してください
チャンネルIDを入力してください
優先度を入力してください

電話番号	<input type="text" value="半角数字を入力してください"/>
チャンネル名	<input type="text" value="入力してください(最大30文字)"/>
チャンネル番号	<input type="text" value="1~255の半角数字を入力してください"/>
優先度	<input type="text" value="1~255の半角数字を入力してください"/>
開始音	<input type="text" value="なし"/> <input type="button" value="▼"/>
終了音	<input type="text" value="なし"/> <input type="button" value="▼"/>

メモ 登録時のエラーについて

- ・入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで登録を実行できません。
- ・マルチキャスト放送CHの登録数が 255 放送CHを超える場合、「実行」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、下記のような確認ダイアログが表示されます。ここで「OK」ボタンをクリックすると、登録が完了します。
登録された放送CH情報は即座に反映されます。

マルチキャスト放送チャンネル情報登録

マルチキャスト放送チャンネルの登録を行います

電話番号	9999
チャンネル名	社内一斉放送
チャンネル番号	1
優先度	1
開始音	サイレン <input type="button" value="试听する"/>
終了音	チャイム129 <input type="button" value="试听する"/>

よろしいですか？

<各項目欄解説>

電話番号

登録する放送 CH を呼び出すための電話番号を設定します。

- ・半角数字のみ
- ・23 桁まで入力可能です。

チャンネル名

登録する放送 CH の名称を設定します。

- ・半角全角 30 文字まで入力可能です。

チャンネル番号

放送受信端末の server.ini に設定するチャンネル番号(MCH)を設定します。

- ・半角数字のみ
- ・1~255

優先度

放送 CH の放送優先度を設定します。

複数の放送 CH を同時に受信した端末については、優先度がより高い放送 CH が放送されます。

- ・半角数字のみ
- ・1~255

開始音

一斉同報の開始時に再生する音を選択します。

- ・チャイム 1~10(出荷時の名称)
- ・なし(無音)

※開始音の名称は「マルチキャスト放送開始音・終了音名変更」にて変更できます。

※「なし」以外を選択すると音源を試聴できます。

終了音

一斉同報の開始時に再生する音を選択します。

- ・チャイム 129~138(出荷時の名称)
- ・なし(無音)

※終了音の名称は「マルチキャスト放送開始音・終了音名変更」にて変更できます。

※「なし」以外を選択すると音源を試聴できます。



注意 開始音・終了音について

LCS403 と放送受信端末の両方に同じ音源ファイルがインストールされている必要があります。詳細についてはP.28 を参照してください。

3 放送チャンネル情報の変更

P.71 の⑥の変更ボタンをクリックすると、「マルチキャスト放送チャンネル情報変更」画面が表示され、登録済みの放送CH情報の変更を行うことができます。
※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

マルチキャスト放送チャンネル情報変更

マルチキャスト放送チャンネルの登録情報を変更します

	変更前	変更後
電話番号	9999	<input type="text" value="8888"/>
チャンネル名	社内一斉放送	<input type="text" value="会議室"/>
チャンネル番号	1	<input type="text" value="2"/>
優先度	1	<input type="text" value="10"/>
開始音	サイレン	<input type="text" value="チャイム1"/> <input type="button" value="▼"/> 試験する
終了音	チャイム129	<input type="text" value="チャイム130"/> <input type="button" value="▼"/> 試験する

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、変更が完了します。
変更後の放送放送CH情報は即座に反映されます。

各項目欄についての詳細は、「マルチキャスト放送チャンネル情報登録」画面と同様です。

■削除

「マルチキャスト放送チャンネル情報変更」画面で「削除」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、該当の放送CH登録が即座に削除されます。
一度削除した放送CH登録は元に戻すことができません。

メモ 変更時のエラーについて

入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで変更を実行できません。

4 放送チャンネルグループ一覧

「マルチキャスト」タブでP.71 の③のボタンをクリックした時に表示される画面です。登録された一斉同報の全放送CHグループを閲覧できます。

LCS403

LANdeVOICE端末情報 マルチキャスト CSV入力 端末状態確認

チャンネル一覧 チャンネル登録 **チャンネルグループ一覧** チャンネルグループ登録 開始音・終了音変更

表示件数：1件

	電話番号	グループ名	登録放送チャンネル
1	333	会議室+営業部	会議室 [チャンネル番号:2 / 優先度:50] 営業部 [チャンネル番号:3 / 優先度:100]

変更

ページを再読み込み

端末管理システム ver.1.0.0_rc8 Copyright (C) 2016-2023 A2 Corp. All Rights Reserved.

⑧項目別にソート ⑨ページ再読み込み ⑩放送チャンネルグループの変更



メモ 放送チャンネルグループの開始音・終了音について

放送チャンネルグループを登録すると、開始音・終了音は各放送CHに設定されているものが再生されます。

再生時間が一番長いものに合わせて放送が開始されます。

<各部解説>

⑧項目別にソート

ソート可能な項目名はクリックできるようになっています。クリックすると、各項目の列で表示結果をソートします。

ソート順はクリックのたび、昇順、降順 の順で切り替わります。
出荷時状態では電話番号の昇順でソートされています。

⑨ページ再読み込み

クリックするとソート条件を保ったままページを再読み込みします。

⑩放送チャンネルグループの変更

クリックすると、「マルチキャスト放送チャンネルグループ変更」画面(P.81 参照)が表示されます。

5 放送チャンネルグループの登録

P.71 の④の登録ボタンをクリックすると、「マルチキャスト放送チャンネルグループ登録」画面が表示され、複数の放送CHのグループ化を行うことができます。

※赤字、赤枠は入力必須項目です。

※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

マルチキャスト放送チャンネルグループ登録

同じ放送を流したい複数の放送チャンネルをグループ化します

電話番号を入力してください
チャンネルグループ名を入力してください

電話番号	半角数字を入力してください
グループ名	入力してください(最大30文字)

右のリストからグループ化するチャンネルを選択してください(0/20)

<< 更新(1/1) >>

全体緊急放送 [チャンネル番号:1 / 優先度:1]
会議室 [チャンネル番号:2 / 優先度:50]
営業部 [チャンネル番号:3 / 優先度:100]

✕ 取り消す← 追加する

実行 閉じる

メモ 登録時のエラーについて

- ・入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで登録を実行できません。
- ・選択した放送CHが 20 放送CH(チャンネル番号 1 を含む)を超える場合、「追加する」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。
- ・放送CHグループの登録数が 10 グループを超える場合、「実行」ボタンをクリックするとエラーメッセージが表示されます。

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、下記のような確認ダイアログが表示されます。ここで「OK」ボタンをクリックすると、登録が完了します。
登録された放送CH情報は即座に反映されます。

<各項目欄解説>

電話番号

登録する放送 CH グループを呼び出すための電話番号を設定します。

- ・半角数字のみ
- ・23 桁まで入力可能です。

グループ名

登録する放送 CH グループの名称を設定します。

- ・半角全角 30 文字まで入力可能です。

6 放送チャンネルグループの変更

P.77の⑩の変更ボタンをクリックすると、「マルチキャスト放送チャンネルグループ変更」画面が表示され、登録済みの放送CHグループの変更を行うことができます。

※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

マルチキャスト放送チャンネルグループ変更

放送チャンネルグループの登録を変更します

	変更前	変更後
電話番号	333	<input type="text" value="222"/>
グループ名	会議室 + 営業部	<input type="text" value="会議室 + 営業部"/>

右のリストからグループ化するチャンネルを選択してください(2/20)

会議室 [チャンネル番号:2 / 優先度:50]
営業部 [チャンネル番号:3 / 優先度:100]

全体緊急放送 [チャンネル番号:1 / 優先度:1]
会議室 [チャンネル番号:2 / 優先度:50]
営業部 [チャンネル番号:3 / 優先度:100]

<<
更新(1/1)
>>

✕ 取り消す
← 追加する

削除
実行
閉じる

各項目欄に適切な値を入力し、「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、変更が完了します。変更後の放送CHグループは即座に反映されます。

各項目欄についての詳細は、「マルチキャスト放送チャンネルグループ登録」画面と同様です。

■削除

「マルチキャスト放送チャンネルグループ変更」画面で「削除」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、該当の放送CHグループ登録が即座に削除されます。

一度削除した放送CHグループ登録は元に戻すことができません。



メモ 変更時のエラーについて

入力必須項目欄が未入力、または不適切な値が入力されている状態では、画面上部に赤字のエラーメッセージが表示されます。この場合、該当欄を適切な値に修正するまで変更を実行できません。

7 開始音・終了音名の変更

P.71 の⑤の変更ボタンをクリックすると、「マルチキャスト音源情報変更」画面が表示され、放送で再生する開始音や終了音の変更を行うことができます。
※画面が全て表示されていない場合はスクロールしてください。

マルチキャスト音源情報変更

マルチキャスト放送で使用する音源情報を変更します(現在、0.32/20[MB])

開始音	名称	削除	終了音	名称	削除
1.wav/ 0.09MB	チャイム1	<input type="checkbox"/>	129.wav/ 0.03MB	チャイム129	<input type="checkbox"/>
2.wav/ 0.09MB	チャイム2	<input type="checkbox"/>	130.wav/ 0.03MB	チャイム130	<input type="checkbox"/>
3.wav/ 0.06MB	チャイム3	<input type="checkbox"/>	131.wav/ 0.03MB	チャイム131	<input type="checkbox"/>
4.wav/ 0.00MB	チャイム4	<input type="checkbox"/>	132.wav/ 0.00MB	チャイム132	<input type="checkbox"/>
5.wav/ 0.00MB	チャイム5	<input type="checkbox"/>	133.wav/ 0.00MB	チャイム133	<input type="checkbox"/>
6.wav/ 0.00MB	チャイム6	<input type="checkbox"/>	134.wav/ 0.00MB	チャイム134	<input type="checkbox"/>
7.wav/ 0.00MB	チャイム7	<input type="checkbox"/>	135.wav/ 0.00MB	チャイム135	<input type="checkbox"/>
8.wav/ 0.00MB	チャイム8	<input type="checkbox"/>	136.wav/ 0.00MB	チャイム136	<input type="checkbox"/>
9.wav/ 0.00MB	チャイム9	<input type="checkbox"/>	137.wav/ 0.00MB	チャイム137	<input type="checkbox"/>
10.wav/ 0.00MB	チャイム10	<input type="checkbox"/>	138.wav/ 0.00MB	チャイム138	<input type="checkbox"/>

各設定を行い、「実行」ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。そこで「OK」ボタンをクリックすると、変更が完了します。



メモ 音源ファイルのバックアップと復元について

LCS403 の設定画面メニュー「バックアップファイル作成」をクリックすると、インストールされた音源ファイルを含んだバックアップファイルが作成されます。


バックアップした音源ファイルは、設定画面メニュー「ファイル送信／バックアップファイル復元」や、端末管理システムの「マルチキャスト音源情報変更」画面から復元できます。

<各項目欄解説>

■開始音・終了音


一斉同報で再生する開始音や終了音について以下の操作が可能です。

【インストールされた音源の試聴】

再生ボタン  をクリックすると音源を試聴できます。

※工場出荷時のインストール音源内容については P.24 を参照してください。

【音源のインストール・変更】

方法①ファイル選択ボタン  をクリックし、任意の音源ファイルを選択します。

方法②任意の音源ファイルを選択して画面内にドラッグし、表示された破線枠内にドロップします。複数ファイルの一括インストールが可能です。

※方法①ではインストールしたい音源ファイルのファイル名を選択中のものと同じファイル名 (1.wav、129.wav 等) にする必要があります。

※方法②では同じファイル名の各インストール済み音源ファイルに自動的に上書きされます。

※不適切なファイル名やファイル形式の音源ファイルが送信されるとエラーになります。ファイル形式についてはお問い合わせください。

※ファイルがインストールされていない音源枠は再生ボタンがグレーアウトしています。

【名称の変更】

「名称」欄を直接書き換えると名称を変更できます。

【音源ファイルの削除】

「削除」欄にチェックを入れた状態で「マルチキャスト音源情報変更」画面の変更を完了すると、該当ファイルが削除されます。

CSV入力による設定

「CSV 入力」タブは、端末管理システムに登録する端末情報やユニキャスト/マルチキャスト設定を CSV 形式にて一括管理することができるタブです。

初回登録時や一括編集時にはこのタブを使用することをお勧めします。開くと、現在の登録情報が全て CSV 形式で表示されます。

本設定実行時、動的 IP (P.56、57 参照) の場合は LCS403 に登録されている端末 IP アドレス情報をリセットできます。

その場合、一定時間通話が行えなくなります。各端末のパラメータ「ALIVETIMER」の値を3分に設定することを推奨します(第4章参照)。

①編集用チェックボックス

②LANdeVOICE 端末情報入力フォーム

③ユニキャスト/マルチキャスト設定入力フォーム

④リセットボタン

⑤データのインポート
※IP アドレスリセット用チェックボックス付

<各部解説>

①編集用チェックボックス

誤編集防止用です。チェックすると、各入力フォーム内のデータ編集が可能になります。

②LANdeVOICE 端末情報入力フォーム

直接書き換えることができます。

記述方法等については P.86～をご覧ください。

③ユニキャスト/マルチキャスト設定入力フォーム

直接書き換えることができます。

記述方法等については P.89～、92～をご覧ください。

④リセットボタン

クリックすると、これまでの編集がキャンセルされ、入力フォーム内のデータがタブを開いた時点のデータに書き換えられます。

⑤データのインポート

クリックすると、現在の入力フォームの状態が送信されます。

「IP アドレスをリセットする」チェックボックスについて

・動的 IP の場合は、CSV データ登録時、「IP アドレスをリセットする」をチェックしたうえでインポートしてください。

・チェックすると、全端末の IP アドレスが「AUTO」に書き換わり、一時的に、LANdeVOICE 端末情報タブでは「切断」表示に、端末状態確認タブでは「異常」表示になります。各 LANdeVOICE 端末からステータス通知が届くと IP アドレスが再取得され、表示が切り替わります。

※この場合、「切断」「異常」と表示されていても、実際に全端末がネットワークから切断されているわけではありません。

※各端末からステータス通知が届くまでの時間は端末ごとの ALIVETIMER の設定によります。全端末 3 分に設定することを推奨します。

インポート結果について

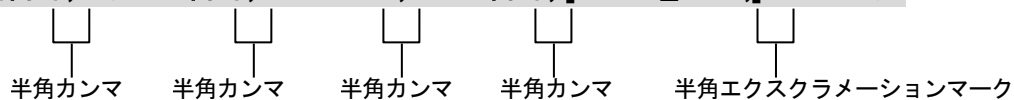
・「インポートに成功しました。」というメッセージが表示されると、データ反映完了です。その際、反映結果が入力フォームに表示されます。

・入力した内容が不適切な場合、「エラー:CSV に誤りがあります。」という表示とともに不適切な箇所が指摘され、再編集を行うことができます。この場合、データ送信は行われません。

再編集後、再度「インポート」ボタンにてデータ送信を行うことができます。また、入力フォーム下部に表示された「入力した値にリセット」ボタンをクリックすると、再編集がキャンセルされ、前回のインポート実行時のデータに書き換えられます。

<端末情報 記述方法>

電話番号,シリアル番号,IP アドレス,ポート番号, [PORT_ANY,] !コメント文



<編集ルール>

- コメント文以外は必ず 1 行で記述してください。
- コメント文以外は半角文字で記述してください。
- 各設定項目と半角カンマとの間に半角スペースを入れることも可能ですが、インポート後は 1 文字分のスペースだけが残ります。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
「!(半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字及び半角文字が使用可能です。
- 行頭に「!」が付いている行及び空白の行は削除されるのでご注意ください。
- 代表電話番号機能で複数台一斉呼出(PLUR_SETUP)を利用する場合は、最大 50 グループ、1 グループ最大 10 件登録できます。
- CPS8 の phone.tbl をそのままコピー&ペーストすることができます(P.119 参照)。



メモ CSV 登録の便利な方法

データをExcel等で作成し、セルの内容を入力フォームへコピー&ペーストすると便利です。

<端末情報 設定項目解説>

項目	説明	設定可能値
電話番号	発信先 LANdeVOICE 端末の電話番号 ※記述必須項目 " NULL ": 未登録	23桁までの電話番号 0~9 その他 "[]", "<>" 等端末の phone.ini に設定可能な記号
シリアル番号	発信先 LANdeVOICE 端末のシリアル番号 ※シリアル番号は製品底面に記載 0: 固定 IP	0 シリアル番号
IPアドレス	発信先 LANdeVOICE 端末の IP アドレス 固定 IP 時: IP アドレスを記述 動的 IP 時: AUTO AUTO: IP アドレスを再取得 ※端末からのステータス通知が行われた時点で、端末の現在の IP アドレスに書き換わる	IPv4 アドレス AUTO
ポート番号	発信先 LANdeVOICE 端末のポート番号 (syscnfg.ini の CCH) ※デフォルト値 1 回線目: 4445 2 回線目: 4446	ポート番号
PORT_ANY	記述すると動的ポート番号になる ※動的 IP 時のみ設定可。端末のステータス通知の際に CCH の値を自動的にポート番号欄に反映。1 回線目しか通知されないため、2 回線を使用する場合は本項目は記述しない (固定ポート番号にする)。	PORT_ANY
コメント	半角文字の「!」以降の文字は設定に影響しない コメント文と見なされる	半角文字、全角文字



メモ シリアル番号と IP アドレスについて

シリアル番号を記述すると動的 IP 扱いになり、シリアル番号で管理されます。この時に IP アドレスを記述すると端末管理システムはその IP アドレスに通信をしにいきますが、端末からのステータス通知が来ると現在の IP アドレスに更新されます。

AUTO を記述すると端末管理システムは端末からステータス通知が来るのを待ちます。端末からのステータス通知後は端末の現在の IP アドレスが表示されます。

<端末情報 CSV 入力フォーム記述例>

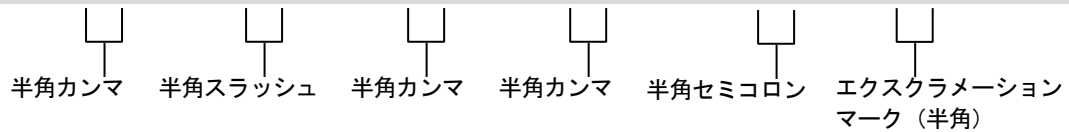
100, 0, 192.168.1.10, 4445,	!①
200, 0, 192.168.1.10, 4446,	!②
300, 0, 192.168.1.20, 5555,	!③
400, 0, 192.168.1.20, 5556,	!④
400, 0, 192.168.1.30, 6665,	!⑤

■解説

- ①・・・IP アドレス 192.168.1.10 の端末の ch.1 (CCH:4445)
LANdeVOICE 端末から 100 をダイヤルされた場合に着信させる宛先
※CCH にしたがい、固定ポート番号 4445 を記述します。
- ②・・・IP アドレス 192.168.1.10 の端末の ch.2 (CCH:4446)
LANdeVOICE 端末から 200 をダイヤルされた場合に着信させる宛先
※CCH にしたがい、固定ポート番号 4446 を記述します。
- ③・・・IP アドレス 192.168.1.20 の端末の ch.1 (CCH:5555)
LANdeVOICE 端末から 300 をダイヤルされた場合に着信させる宛先
※CCH にしたがい、固定ポート番号 5555 を記述します。
- ④・・・IP アドレス 192.168.1.20 の端末の ch.2 (CCH:5556)
LANdeVOICE 端末から 400 をダイヤルされた場合に主に着信させる宛先
※CCH にしたがい、固定ポート番号 5556 を記述します。
- ⑤・・・IP アドレス 192.168.1.30 の端末の ch.1 (CCH:6665)
LANdeVOICE 端末から 400 をダイヤルされた際に場合によっては着信させる宛先
◇syscnfg.ini のパラメータ「CIRT」の値が ON に設定されていると、1 回目の発信では
④→⑤の順番で着信させ、2 回目の発信では⑤→④の順番で着信させます。
「PLUR_SETUP」の値が 400 に設定されていると、④⑤両方に一斉に着信させます。
(P.46、124 参照)

<ユニキャストグループ設定 記述方法>

電話番号,開始音番号/終了音番号,発信者番号,呼び出し番号;オプション!グループ名



<編集ルール>

- 「[conference]」と記述した行以降に記述したグループは会議通話のグループとなります。
- 途中で Enter キーによる改行をしないでください(1 行の長さが入力フォームの横幅を超えると自動改行します)。
- グループ名以外は半角文字で記述してください。
- 各設定項目と半角カンマまたは半角セミコロンとの間に半角スペースを入れることも可能ですが、インポート後は 1 文字分のスペースだけが残ります。
- 「!(半角文字)」以降がグループ名になります。全角文字及び半角文字が使用可能です。
- 行頭に「!」が付いている行及び空白の行は削除されるのでご注意ください。



メモ CSV 登録の便利な方法

データをExcel等で作成し、セルの内容を入力フォームへコピー&ペーストすると便利です。

<ユニキャストグループ設定 設定項目解説>

項目	説明	設定可能値
電話番号	一斉同報や会議通話をするための電話番号 ※LCS403 に登録されている端末の電話番号と重複しないよう注意してください	23桁までの電話番号 0~9
開始音番号/ 終了音番号	一斉同報や会議通話で再生する開始音や終了音の音源ファイル番号 【開始音】 1.wav~20.wav: 1~20 再生しない: 0 【終了音】 129.wav~148.wav: 129~148 再生しない: 0 (記述例 1/129)	左記番号 半角スラッシュ
発信者番号	同報元端末、発信元端末の電話番号 ※登録できる発信元電話番号は1つだけ 発信者制限なし: /	LCS403 に登録されている 23桁までの電話番号 0~9 半角スラッシュ
呼び出し 番号	呼び出し先の電話番号 ※発信者制限をする場合、本項目への発信者番号の記述は不要	LCS403 に登録されている 23桁までの電話番号 0~9
オプション	会議通話の自由参加機能を利用したい場合にパラメータを記述	JOINFREE=ON ※半角文字
グループ名	ユニキャストグループの名称	半角文字、全角文字

※オプション以外の項目は記述必須

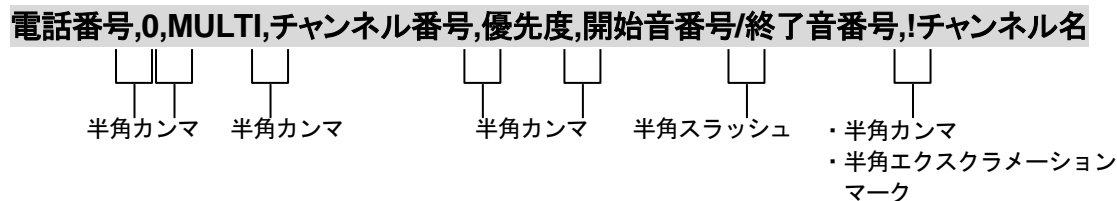
<ユニキャストグループ設定 記述例>

777, 3/129, 100, 200, 300, 400; !緊急放送 [conference] 888, 1/129, /, 100, 200, 300, 400; JOINFREE=ON!本社内会議

■解説

- 1 行目…電話番号 777 の一斉同報グループ
開始音: サイレン / 終了音: チャイム ※工場出荷時の音源内容
発信者: 100
呼び出し先: 200、300、400
- 2 行目…以降の行は会議通話グループ
- 3 行目…電話番号 888 の会議通話グループ
開始音: チャイム / 終了音: チャイム ※工場出荷時の音源内容
発信者: 制限なし
呼び出し先: 100、200、300、400
自由参加: 許可する

<マルチキャスト放送チャンネル情報 記述方法>



<編集ルール>

- チャンネル名以外は必ず1行で記述してください。
- チャンネル名以外は半角文字で記述してください。
- 各設定項目と半角カンマとの間に半角スペースを入れることも可能ですが、インポート後は1文字分のスペースだけが残ります。
- 「!(半角文字)」以降がチャンネル名になります。全角文字及び半角文字が使用可能です。
- 行頭に「!」が付いている行及び空白の行は削除されるのでご注意ください。

<MTSVとの互換性について>

マルチキャスト放送チャンネル情報入力フォームにはMTSVのphone.tblとの互換性はありません。MTSVのphone.tblをそのままコピー&ペーストしても正常に読み込むことができませんのでご注意ください。

MTSVからリプレースする場合は、MTSVのphone.tblに開始音番号と終了音番号を追記します。

【MTSV】

電話番号,0,MULTI,チャンネル番号,優先度,!チャンネル名

【LCS403】

電話番号,0,MULTI,チャンネル番号,優先度,開始音番号/終了音番号,!チャンネル名

※各項目の間はカンマ区切りでもスペース区切りでもかまいませんが、必ずどちらかに統一してください。



メモ CSV登録の便利な方法

データをExcel等で作成し、セルの内容を入力フォームへコピー&ペーストすると便利です。

<マルチキャスト放送チャンネル情報 設定項目解説>

項目	説明	設定可能値
電話番号	一斉同報をするための電話番号 ※LCS403 に登録されている端末の電話番号と重複しないよう注意してください	23 桁までの電話番号 0~9
0	-	0(固定値)
MULTI	-	MULTI(固定値)
チャンネル番号	放送受信端末の server.ini に設定する MCH 番号	半角数字 1~255
優先度	放送 CH の放送優先度 ※複数の放送 CH を同時に受信した端末については、優先度がより高い放送 CH が放送される	半角数字 1~255
開始音番号/ 終了音番号	放送開始/終了時に再生する WAV ファイル名 開始音番号: 1~10 終了音番号: 129~138 ※拡張子を除いた部分を記述 ※ファイル名は「マルチキャスト放送開始音・終了音名変更」画面 (P.82) を参照 ※再生しない場合は 0 を記述 (記述例 1/129)	半角数字 1~10 半角スラッシュ 半角数字 129~138
チャンネル名	放送 CH の名称	半角文字、全角文字

※全項目記述必須

<マルチキャスト放送チャンネル情報 CSV 入力フォーム記述例>

999, 0, MULTI, 1, 1, 1/129,	!全体緊急放送
444, 0, MULTI, 2, 10, 3/130,	!会議室
555, 0, MULTI, 3, 50, 0/0,	!営業部

■解説

1 行目・・・電話番号 999 の放送 CH

チャンネル番号: 1

優先度: 1

開始音: 1.wav / 終了音: 129.wav

2 行目・・・電話番号 444 の放送 CH

チャンネル番号: 2

優先度: 10

開始音: 3.wav / 終了音: 130.wav

3 行目・・・電話番号 555 の放送 CH

チャンネル番号: 3

優先度: 50

開始音/終了音: なし

<マルチキャスト放送チャンネルグループ 記述方法>

電話番号,チャンネル電話番号,!グループ名



半角カンマ



- ・半角カンマ
- ・半角エクスクラメーションマーク

<編集ルール>

- グループ名以外は必ず1行で記述してください。
- グループ名以外は半角文字で記述してください。
- 各設定項目と半角カンマとの間に半角スペースを入れることも可能ですが、インポート後は1文字分のスペースだけが残ります。
- 「!(半角文字)」以降がグループ名になります。全角文字及び半角文字が使用可能です。
- 行頭に「!」が付いている行及び空白の行は削除されるのでご注意ください。



メモ CSV登録の便利な方法

データをExcel等で作成し、セルの内容を入力フォームへコピー&ペーストすると便利です。

<マルチキャスト放送チャンネルグループ 設定項目解説>

項目	説明	設定可能値
電話番号	グループに一齐同報をするための電話番号 ※LCS403 に登録されている端末の電話番号と重複しないよう注意してください	23桁までの電話番号 0~9
チャンネル電話番号	グループ化する放送 CH の電話番号	23桁までの電話番号 0~9
グループ名	放送 CH グループの名称	半角文字、全角文字

<マルチキャスト放送チャンネルグループ CSV 入力フォーム記述例>

333, 444, 555, !会議室+営業部

■解説

電話番号 333 で、電話番号 444 の会議室放送 CH と電話番号 555 の営業部放送 CH をグループで呼び出す

第8章 運用例

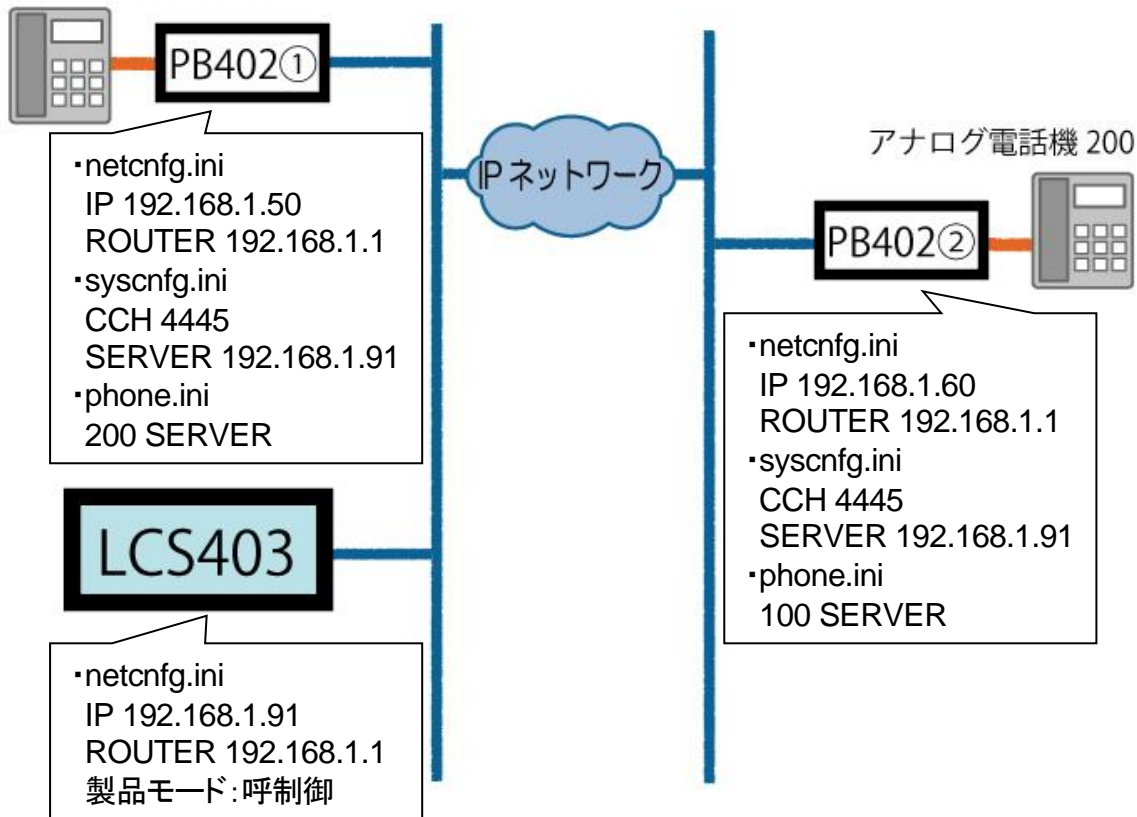
実際に LCS403 の運用を試してみましょう。

- LCS403 経由での基本的な通話
- 代表電話番号機能
- ユニキャスト一斉同報
- ユニキャスト会議通話
- マルチキャスト一斉同報

LCS403 経由での基本的な通話

下記の運用を試してみます。

アナログ電話機 100



※ROUTER:デフォルトゲートウェイを指します

- 1 LANdeVOICE端末およびLCS403 を設定します。**
各機器に上図の設定をします。
- 2 アナログ電話機を接続します。**
PB402①②のch.1 にそれぞれアナログ電話機を接続します。

3 LCS403 の端末管理システムを設定します。

※P.56 の端末情報登録画面からも登録可能ですが、今回はCSVで登録します。

端末管理システムにログインし、「CSV入力」タブを開きます。

「LANdeVOICE端末情報」のチェックを入れ、入力フォームに下記の内容を記述します。

100 , 0 , 192.168.1.50 , 4445 ,	!PB402① ch.1
200 , 0 , 192.168.1.60 , 4445 ,	!PB402② ch.1

「インポート」ボタンをクリックします。

「LANdeVOICE端末情報」タブを見ると、下記のような画面になっています。

LANdeVOICE端末情報 CSV入力 端末状態確認

一覧 登録

検索対象列: 電話番号 検索ワード:

検索結果 表示件数: 2件中 1-2件

動的ポート番号 端末情報変更日時

	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	100	0	192.168.1.50	4445	PB402① ch.1
2	200	0	192.168.1.60	4445	PB402② ch.1

最初のページへ 一つ前へ 1 一つ次へ 最後のページへ

ページを再読み込み

端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.

4 通話を試します。

1. PB402①の電話機をオフフックし、200 番をダイヤルします。
2. LCS403 経由で発信先PB402 の電話機に着信します。
3. PB402②の電話機をオフフックし、通話をします。
4. PB402①②の電話機をオンフックします。
5. 今度はPB402②から 100 番をダイヤルし、PB402①と通話します。

5 メンテナンスをします。

端末情報の追加を行います。

端末 300 番を追加登録します。

「LANdeVOICE端末情報」タブの「登録」ボタンをクリックします。

「LANdeVOICE端末情報登録」画面が開くので、以下の登録を行います。

- ・電話番号： 300
- ・IPアドレス： 固定IP / 192.168.1.70
- ・ポート番号： 固定ポート番号 / 4445
- ・コメント： PB402③ ch.1

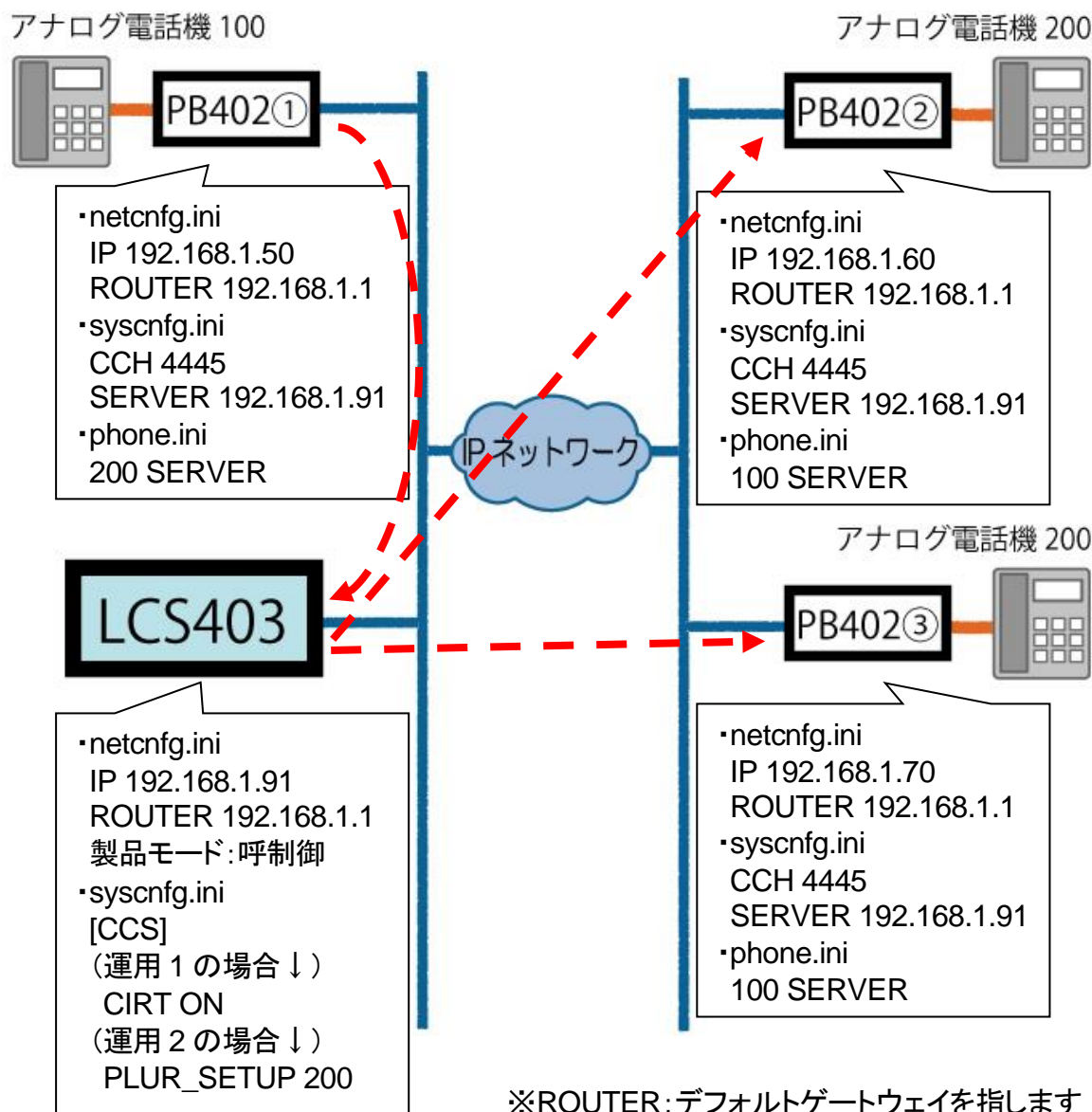
「一覧」に戻ると下記のような画面になっています。

The screenshot shows the 'LANdeVOICE端末情報' (LANdeVOICE Terminal Information) management interface. It includes tabs for 'LANdeVOICE端末情報', 'CSV入力', and '端末状態確認'. Below the tabs are buttons for '一覧' (List) and '登録' (Register). A search section allows filtering by '電話番号' (Phone Number) and includes a search input field and a '検索' (Search) button. The search results show 3 items, with the current page displaying items 1-3. The table below lists the details for three terminals, including their phone numbers, serial numbers, IP addresses, port numbers, and comments. The first terminal (ID 1) has phone number 100, serial number 0, IP 192.168.1.50, port 4445, and comment 'PB402① ch.1'. The second terminal (ID 2) has phone number 200, serial number 0, IP 192.168.1.60, port 4445, and comment 'PB402② ch.1'. The third terminal (ID 3) has phone number 300, serial number 0, IP 192.168.1.70, port 4445, and comment 'PB402③ ch.1'. The interface also features pagination controls and a footer with the text 'ページを再読み込み' (Refresh page) and '端末管理システム ver.2.1.0 Copyright (C) 2016-2017 A2 Corp. All Rights Reserved.'

	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	100	0	192.168.1.50	4445	PB402① ch.1
2	200	0	192.168.1.60	4445	PB402② ch.1
3	300	0	192.168.1.70	4445	PB402③ ch.1

代表電話番号機能

下記の運用を試してみます。



運用 1: PB402②③の電話機に代表電話番号を設定し、PB402①の電話機から交互に呼出

運用 2: PB402①の電話機からPB402②③の電話機を一斉呼出

1 LANdeVOICE端末およびLCS403 を設定します。
各機器に上図の設定をします。

2 アナログ電話機を接続します。
PB402①②③のch.1 にそれぞれアナログ電話機を接続します。

3 CCS401 の端末管理システムを設定します。

端末管理システムにログインし、「CSV入力」タブを開きます。
「LANdeVOICE 端末情報」のチェックを入れ、入力フォームに下記の内容を記述します。

100 , 0 , 192.168.1.50 , 4445 ,	!PB402① ch.1
200 , 0 , 192.168.1.60 , 4445 ,	!PB402② ch.1
200 , 0 , 192.168.1.70 , 4445 ,	!PB402③ ch.1

「インポート」ボタンをクリックします。

4 LCS403 のsyscnfg.iniを設定します。

運用 1 の場合
CIRT ON

運用 2 の場合
PLUR_SETUP 200

5 発信を試みます。

運用 1 の場合

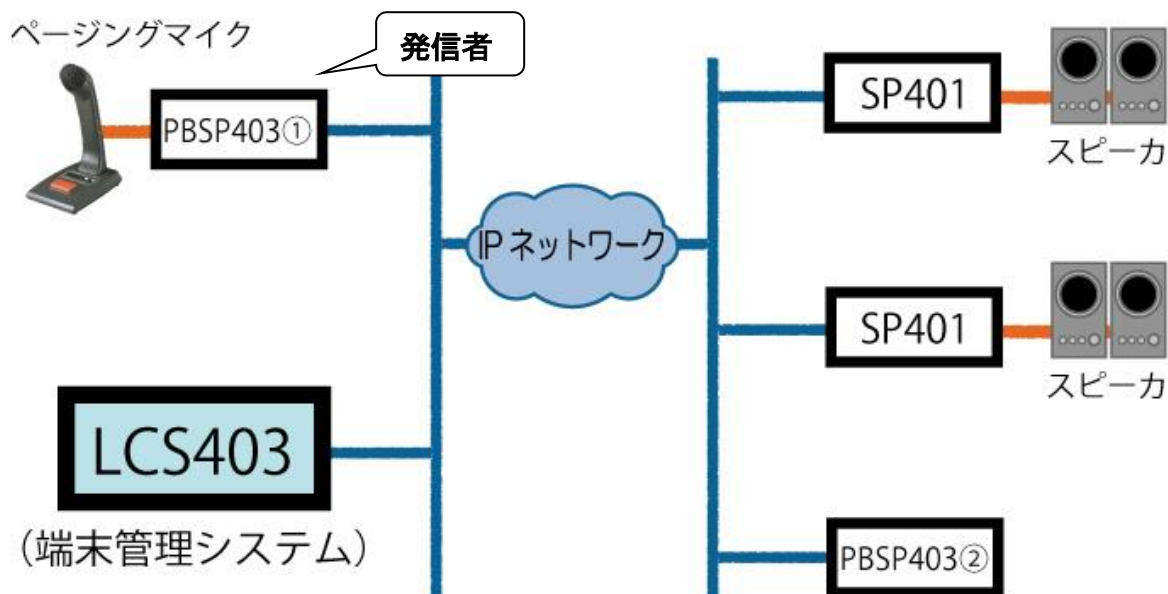
1. PB402①の電話機をオフフックし、200 番をダイヤルします。
2. PB402②の電話機に着信します(②の電話機が使用中の場合③に着信)。
3. PB402②の電話機をオフフックし、通話をした後、オンフックします。
4. 再度PB402①の電話機をオフフックし、200 番をダイヤルします。
5. PB402③の電話機に着信します。

運用 2 の場合

1. PB402①の電話機をオフフックし、200 番をダイヤルします。
2. PB402②③の電話機に一斉に着信します。
3. ②③のどちらか一方をオフフックすると、もう一方の呼出が止まります。

ユニキャスト一斉同報

下図の構成でユニキャスト一斉同報を試してみます。
PBSP403①からSP401、PBSP403②に開始音・終了音付きの放送をします。



PBSP403①設定

```

•netcnfg.ini
IP 192.168.1.93
ROUTER 192.168.1.1
•syscnfg.ini
CCH 4445
SERVER 192.168.1.91
BTN1_MODE SPSETUP
INPUT_TYPE 1
•phone.ini
[S11]<777> SERVER
    
```

LCS403 設定

```

•netcnfg.ini
IP 192.168.1.91
ROUTER 192.168.1.1
製品モード:呼制御+ユニキャスト同報
•syscnfg.ini
[UCS]
WAITCONN 5
    
```

SP401 設定

```

•netcnfg.ini
IP 192.168.1.94 (95)
ROUTER 192.168.1.1
•syscnfg.ini
BT_SET 0
CCH 4445
CT_SET 0
SERVER 192.168.1.91
    
```

PBSP403②設定

```

•netcnfg.ini
IP 192.168.1.96
ROUTER 192.168.1.1
•syscnfg.ini
CCH 4445
SERVER 192.168.1.91
BT_SET 0
CT_SET 0
    
```

※ROUTER:デフォルトゲートウェイを指します

- 1 LANdeVOICE端末およびLCS403 を設定します。
各機器に上記の設定をします。
- 2 アナログ機器を接続します。
PBSP403①にページングマイク、SP401 にスピーカを接続します。

3 LCS403 の端末管理システムで端末情報を登録します。

※P.56 の端末情報登録画面からも登録可能ですが、今回はCSVで登録します。

端末管理システムにログインし、「CSV入力」タブを開きます。

「LANdeVOICE端末情報」のチェックを入れ、入力フォームに下記の内容を記述します。

100 , 0 , 192.168.1.93 , 4446 ,	!管理部 PBSP403 マイク・スピーカ
200 , 0 , 192.168.1.94 , 4445 ,	!第一会議室 SP401 スピーカ
300 , 0 , 192.168.1.95 , 4445 ,	!第二会議室 SP401 スピーカ
400 , 0 , 192.168.1.96 , 4446 ,	!営業部 PBSP403 内蔵スピーカ

「インポート」ボタンをクリックします。

「LANdeVOICE端末情報」タブを見ると、下記のような画面になっています。



LCS403

LANdeVOICE端末情報 ユニキャスト CSV入力 端末状態確認

一覧 登録

検索対象列: 電話番号 検索ワード: [検索]

検索結果 表示件数: 4件中 1-4件

動的ポート番号 端末情報変更日時

	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	100	0	192.168.1.93	4446	管理部 PBSP403 マイク・スピーカ
2	200	0	192.168.1.94	4445	第一会議室 SP401 スピーカ
3	300	0	192.168.1.95	4445	第二会議室 SP401 スピーカ
4	400	0	192.168.1.96	4446	営業部 PBSP403 内蔵スピーカ

最初のページへ 一つ前へ 1 一つ次へ 最後のページへ

ページを再読み込み

端末管理システム ver.1.0.0_rc8 Copyright (C) 2016-2023 A2 Corp. All Rights Reserved.

4 LCS403 の端末管理システムでユニキャストの設定をします。

端末管理システムの「ユニキャスト」タブを開きます。

1. 「音源情報変更」ボタンをクリック、開いた「ユニキャスト音源情報変更」画面で下記の音源ファイルの名称を変更し、「実行」ボタンをクリックします。

3.wav: サイレン
129.wav: チャイム

2. 「登録」ボタンをクリック、開いた「ユニキャストグループ登録」画面で下記の内容を入力・設定し、「実行」ボタンをクリックします。

電話番号: 777
 発信者番号: 発信者制限をする / 100
 グループ名: 緊急
 開始音: サイレン
 終了音: チャイム
 グループの種類: 一斉同報
 呼び出し先: 200、300、400

「ユニキャスト」タブは下記のような画面になっています。

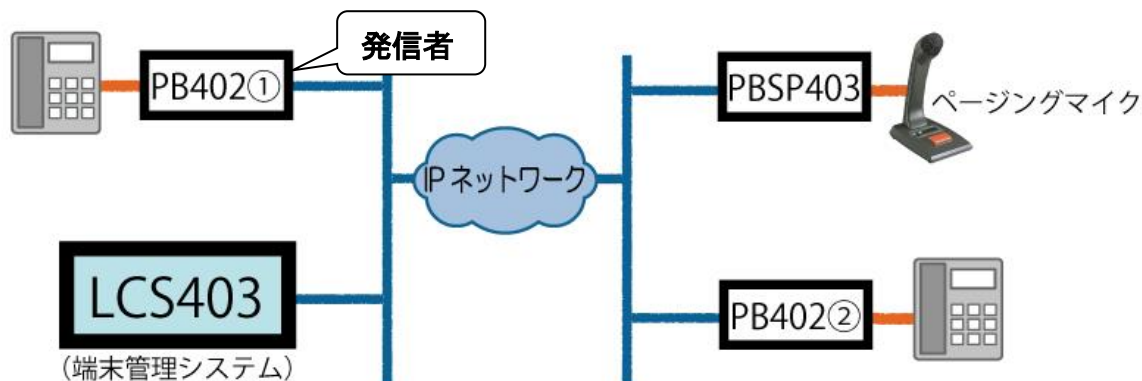


5 一斉同報を試します。

1. PBSP403①の発信先セレクトを 1 に合わせ、ボタンAを押します。
2. SP401、PBSP403②が着信・自動応答し、サイレン音が各スピーカから聞こえます。
3. サイレン音が鳴り終わったら、PBSP403①のページングマイクのプレストークボタンを押下しながら放送を開始します。
4. 放送を終了したら、再度ボタンAを押します。
5. 各スピーカからチャイム音が聞こえた後、各端末が待機状態に戻ります。

ユニキャスト会議通話

下図の構成でユニキャスト会議通話を試してみます。
PB402①、PBSP403、PB402②の 3 者で開始音・終了音付きの会議通話を行います。



PB402①設定

- netcnfg.ini
IP 192.168.1.93
ROUTER 192.168.1.1
- syscnfg.ini
CCH 4445
SERVER 192.168.1.91
- phone.ini
888 SERVER

PBSP403 設定

- netcnfg.ini
IP 192.168.1.94
ROUTER 192.168.1.1
- syscnfg.ini
CCH 4445
SERVER 192.168.1.91
BT_SET 0
CT_SET 0
INPUT_TYPE 1

LCS403 設定

- netcnfg.ini
IP 192.168.1.91
ROUTER 192.168.1.1
製品モード:呼制御+ユニキャスト同報
- syscnfg.ini
[UCS]
WAITCONN 5

PB402②設定

- netcnfg.ini
IP 192.168.1.95
ROUTER 192.168.1.1
- syscnfg.ini
CCH 4445
SERVER 192.168.1.91

※ROUTER: デフォルトゲートウェイを指します

1 LANdeVOICE端末およびLCS403 を設定します。

各機器に上記の設定をします。

2 アナログ機器を接続します。

PB402①②にアナログ電話機、PBSP403 にマイクを接続します。

3 LCS403 の端末管理システムで端末情報を登録します。

※P.56 の端末情報登録画面からも登録可能ですが、今回はCSVで登録します。

端末管理システムにログインし、「CSV入力」タブを開きます。

「LANdeVOICE端末情報」のチェックを入れ、入力フォームに下記の内容を記述します。

100, 0, 192.168.1.93, 4445, !管理部 PB402 電話機
 200, 0, 192.168.1.94, 4446, !第一会議室 PBSP403 内蔵スピーカ
 300, 0, 192.168.1.95, 4445, !営業部 PB402 電話機

「インポート」ボタンをクリックします。

「LANdeVOICE端末情報」タブを見ると、下記のような画面になっています。

LCS403

LANdeVOICE端末情報
ユニキャスト
CSV入力
端末状態確認

一覧
登録

検索対象列: 電話番号 検索ワード: Q検索

検索結果 表示件数: 3件中 1-3件

		電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
<input type="checkbox"/>	動的ポート番号					
<input type="checkbox"/>	端末情報変更日時					
1	変更	100	0	192.168.1.93	4445	管理部 PB402 電話機
2	変更	200	0	192.168.1.94	4446	第一会議室 PBSP403 内蔵スピーカ
3	変更	300	0	192.168.1.95	4445	営業部 PB402 電話機

最初のページへ
一つ前へ
1
一つ次へ
最後のページへ

ページを再読み込み
端末管理システム ver.1.0.0_rc8 Copyright (C) 2016-2023 A2 Corp. All Rights Reserved.

4 LCS403 の端末管理システムでユニキャストの設定をします。

端末管理システムの「ユニキャスト」タブを開きます。

1. 「音源情報変更」ボタンをクリック、開いた「ユニキャスト音源情報変更」画面で下記の音源ファイルの名称を変更し、「実行」ボタンをクリックします。

1.wav: 開始チャイム
129.wav: 終了チャイム

2. 「登録」ボタンをクリック、開いた「ユニキャストグループ登録」画面で下記の内容を入力・設定し、「実行」ボタンをクリックします。

電話番号: 888
発信者番号: 発信者制限をする / 100
グループ名: 本社内会議
開始音: 開始チャイム
終了音: 終了チャイム
グループの種類: 会議通話
呼び出し先: 100、200、300

「ユニキャスト」タブは下記のような画面になっています。



5 会議通話を試します。

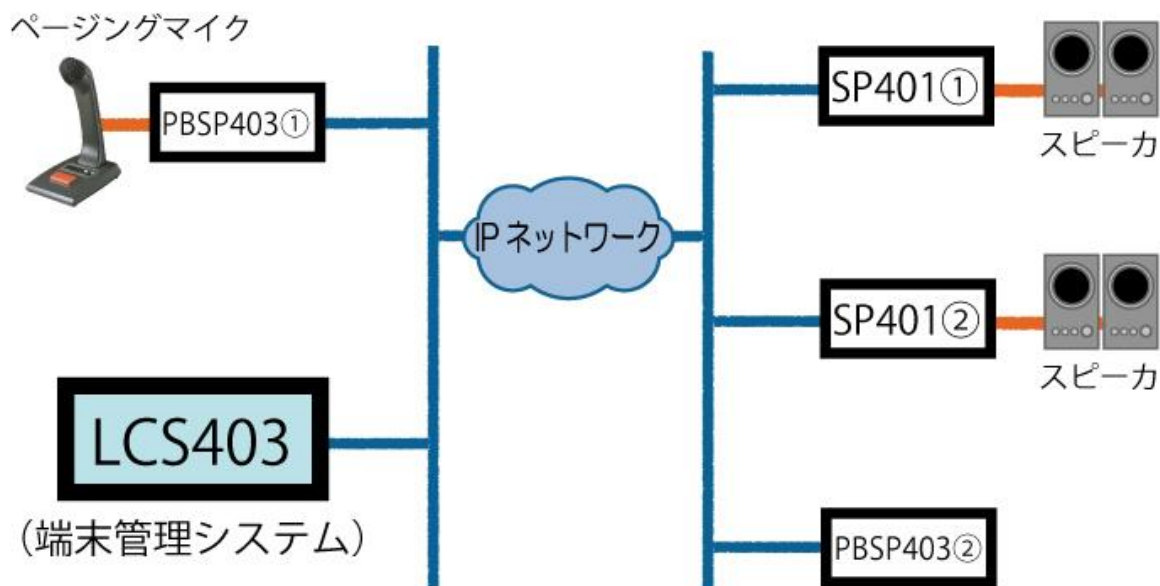
1. PB402①の電話機で 888 番をダイヤルします。
2. PBSP403、PB402②に着信し、PBSP403 は自動応答します。
PB402②の電話機からはリングバックトーンが聞こえるので、5 秒以内にオフフックします。
3. チャイム音が各受話器や内蔵スピーカから聞こえます。
4. チャイム音が鳴り終わったら会議通話を開始します。
5. 会議通話を終了したら、PB402①の電話機をオンフックします。
6. 各受話器や内蔵スピーカからチャイム音が聞こえた後、PBSP403 は自動的に待機状態に戻ります。
PB402②の電話機からはビジートーンが聞こえるので、オンフックします。

マルチキャスト一斉同報

下図の構成でマルチキャスト一斉同報を試してみます。
PBSP403①からSP401①、SP401②、PBSP403②に放送をします。

チャンネル名	電話番号	チャンネル番号	受信端末
全体緊急放送	999	1	SP401① SP401② PBSP403②
会議室	444	2	SP401① SP401②
営業部	555	3	SP401① PBSP403②

※チャンネル番号 3(電話番号 555)の本来の放送先は営業部ですが、
今回は第一会議室で営業部に入る放送をモニタリングしたいため、
SP401①でチャンネル 3 も受信する設定にします。



LANdeVOICEの各機器の設定は以下のように行います。

PBSP403①設定

```

•netcnfg.ini
IP 192.168.1.93
ROUTER 192.168.1.1
•syscnfg.ini
CCH 4445
SERVER 192.168.1.91
BTN1_MODE SPSETUP
BTN2_MODE SPSETUP
BTN3_MODE SPSETUP
INPUT_TYPE 1
•phone.ini
[S11]<999> SERVER
[S12]<444> SERVER
[S13]<555> SERVER
[S93]<333> SERVER
    
```

LCS403 設定

```

•netcnfg.ini
IP 192.168.1.91
ROUTER 192.168.1.1
製品モード:呼制御+マルチキャスト同報
•syscnfg.ini
MCH_IP 224.129.65.33
MCH_PORT 5000
MCS_TYPE 0
TCH_BASE 5002
    
```

※ROUTER: デフォルトゲートウェイを指します

SP401①設定

```

•netcnfg.ini
IP 192.168.1.94
ROUTER 192.168.1.1
•syscnfg.ini
CCH 4445
MCH_IP 224.129.65.33
MCH_PORT 5000
MCS_TYPE 0
SERVER 192.168.1.91
•server.ini
MCH 1 2
    
```

SP401②設定

```

•netcnfg.ini
IP 192.168.1.95
ROUTER 192.168.1.1
•syscnfg.ini
CCH 4445
MCH_IP 224.129.65.33
MCH_PORT 5000
MCS_TYPE 0
SERVER 192.168.1.91
•server.ini
MCH 1 2 3
    
```

PBSP403②設定

```

•netcnfg.ini
IP 192.168.1.96
ROUTER 192.168.1.1
•syscnfg.ini
CCH 4445
SERVER 192.168.1.91
MCH_IP 224.129.65.33
MCH_PORT 5000
•server.ini
MCH 1 3
    
```

- 1 LCS403 を設定します。**
netcnfg.iniとsyscnfg.inifに前頁の設定をします。

- 2 LCS403 に開始音・終了音のWAVファイルをインストールします。**
※出荷時は以下の音源ファイルがインストールされています。
 - 1.wav (開始音:サイレン音)
 - 2.wav (開始音:サイレン音)
 - 3.wav (開始音:チャイム音 上がり)
 - 129.wav (終了音:チャイム音 下がり)
 - 130.wav (終了音:チャイム音 下がり)
 - 131.wav (終了音:チャイム音 下がり)インストール方法についてはP.28 を参照してください。

- 3 LANdeVOICE端末を設定します。**
PBSP403①、SP401①、SP401②、PBSP403②に前頁の設定をします。

- 4 LANdeVOICE端末に開始音・終了音のWAVファイルをインストールします。**
LCS403 と同じファイルをインストールしてください。
インストール方法については各機種取扱説明書および弊社Webサイトを参照してください。

- 5 アナログ機器を接続します。**
PBSP403①にページングマイク、SP401①・SP401②にスピーカを接続します。

6 LCS403 の端末管理システムで端末情報を登録します。

※P.56 の端末情報登録画面からも登録可能ですが、今回はCSVで登録します。

端末管理システムにログインし、「CSV入力」タブを開きます。

「LANdeVOICE端末情報」のチェックを入れ、入力フォームに下記の内容を記述します。

100 , 0 , 192.168.1.93 , 4446 ,	!管理部 PBSP403 マイク・スピーカ
200 , 0 , 192.168.1.94 , 4445 ,	!第一会議室 SP401 スピーカ
300 , 0 , 192.168.1.95 , 4445 ,	!第二会議室 SP401 スピーカ
400 , 0 , 192.168.1.96 , 4446 ,	!営業部 PBSP403 内蔵スピーカ

「インポート」ボタンをクリックします。

「LANdeVOICE端末情報」タブを見ると、下記のような画面になっています。

LCS403

LANdeVOICE端末情報 マルチキャスト CSV入力 端末状態確認

一覧 登録

検索対象列: 電話番号 検索ワード:

検索結果 表示件数: 4件中 1-4件

動的ポート番号 端末情報変更日時

	電話番号	シリアル番号	IPアドレス	ポート番号	コメント
1	100	0	192.168.1.93	4446	管理部 PBSP403 マイク・スピーカ
2	200	0	192.168.1.94	4445	第一会議室 SP401 スピーカ
3	300	0	192.168.1.95	4445	第二会議室 SP401 スピーカ
4	400	0	192.168.1.96	4446	営業部 PBSP403 内蔵スピーカ

最初のページへ 一つ前へ 1 一つ次へ 最後のページへ

ページを再読み込み

端末管理システム ver.1.0.0_rc8 Copyright (C) 2016-2023 A2 Corp. All Rights Reserved.

7 LCS403 の端末管理システムでマルチキャストの設定をします。

「マルチキャスト」タブの「開始音・終了音名変更」ボタンをクリックします。
 「マルチキャスト音源情報変更」画面が開くので、各WAVファイル名を任意の名称に変更します。

「CSV入力」タブに戻り、「マルチキャスト放送チャンネル情報」のチェックを入れ、

999, 0, MULTI, 1, 1, 1/129,	!全体緊急放送
444, 0, MULTI, 2, 50, 3/129,	!会議室
555, 0, MULTI, 3, 100, 0/0,	!営業部

入力フォームに下記の内容を記述します。

「実行」ボタンをクリックします。

「マルチキャスト」タブの「チャンネル一覧」タブは下記のような画面になっています。

LCS403

LANdeVOICE端末情報 マルチキャスト CSV入力 端末状態確認

チャンネル一覧 チャンネル登録 チャンネルグループ一覧 チャンネルグループ登録 開始音・終了音名変更

表示件数: 3件

	電話番号	チャンネル名	チャンネル番号	優先度	開始音	終了音	最終更新日時
1	999	全体緊急放送	1	1	サイレン	終了チャイム	2001-03-06 14:34:56
2	444	会議室	2	50	開始チャイム	終了チャイム	2001-03-06 14:34:56
3	555	営業部	3	100	なし	なし	2001-03-06 14:34:56

ページを再読み込み

端末管理システム ver.1.0.0_rc8 Copyright (C) 2016-2023 A2 Corp. All Rights Reserved.

8 一斉同報を試します。

パターン 1: 全体緊急放送

1. PBSP403①の発信先セレクトを 1 に合わせ、ボタンAを押します。
2. SP401①、SP401②、PBSP403②が着信し、サイレン音が各スピーカから聞こえます。
3. サイレン音が鳴り終わったら、PBSP403①のページングマイクのプレストークボタンを押しながら放送を開始します。
4. 放送を終了する時は、再度ボタンAを押します。
5. 各スピーカからチャイム音が聞こえた後、各端末が待機状態に戻ります。

パターン 2: 第一会議室・第二会議室への放送

1. PBSP403①の発信先セレクトを 1 に合わせ、ボタンBを押します。
2. SP401①、SP401②が着信し、チャイム音が各スピーカから聞こえます。
3. チャイム音が鳴り終わったら、PBSP403①のページングマイクのプレストークボタンを押しながら放送を開始します。
4. 放送を終了する時は、再度ボタンBを押します。
5. 各スピーカからチャイム音が聞こえた後、各端末が待機状態に戻ります。

パターン 3: 営業部(および第一会議室)への放送

1. PBSP403①の発信先セレクトを 1 に合わせ、ボタンCを押します。
2. PBSP403②、SP401①が着信し、即通話状態になります。
3. PBSP403①のページングマイクのプレストークボタンを押しながら放送を開始します。
4. 放送を終了する時は、再度ボタンCを押します。
5. 各端末が即待機状態に戻ります。

9 放送チャンネルのグループ化をします。

「マルチキャスト」タブの「チャンネルグループ登録」ボタンをクリックします。
「マルチキャスト放送チャンネルグループ登録」画面が開くので、以下の登録を行います。

- ・電話番号：333
- ・グループ名：会議室＋営業部
- ・選択するチャンネル：
 - 「会議室 [チャンネル番号:2 / 優先度:50]」
 - 「営業部 [チャンネル番号:3 / 優先度:100]」

「マルチキャスト」タブの「チャンネルグループ一覧」タブは下記のような画面になっています。

LCS403

LANdeVOICE端末情報 マルチキャスト CSV入力 端末状態確認

チャンネル一覧 チャンネル登録 **チャンネルグループ一覧** チャンネルグループ登録 開始音・終了音名変更

表示件数：1件

	電話番号	グループ名	登録放送チャンネル
1	333	会議室 + 営業部	会議室 [チャンネル番号:2 / 優先度:50] 営業部 [チャンネル番号:3 / 優先度:100]

ページを再読み込み

端末管理システム ver.1.0.0_rc8 Copyright (C) 2016-2023 A2 Corp. All Rights Reserved.

一斉同報を試してみます。

1. PBSP403①の発信先セレクタを9に合わせ、ボタンCを押します。
2. SP401①、SP401②、PBSP403②(結果的に全端末)が着信し、チャイム音が各スピーカから聞こえます。
3. チャイム音が鳴り終わったら、PBSP403①のページングマイクのプレストークボタンを押しながら放送を開始します。
4. 放送を終了する時は、再度ボタンCを押します。
5. 各スピーカからチャイム音が聞こえた後、各端末が待機状態に戻ります。

第9章 製品仕様

LCS403 の製品仕様です。

製品名	LANdeVOICE LCS403
型番	LdV4-LCS403
最大登録電話番号数	800 件
最大同時通話数	200 通話
ユニキャスト 一斉同報/会議通話	<p>最大登録同報/会議グループ数：100 グループ 最大同時同報/会議グループ数：5 グループ 最大同時同報数：100 者（発信者含まず） かつ 5 グループ 最大同時会議通話：20 者 かつ 5 グループ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開始音・終了音再生機能あり ・ 会議通話の自由参加機能あり ・ 端末側使用可能コーデック <ul style="list-style-type: none"> 一斉同報：G.711、G.729A（WAV再生不可） 会議通話：G.711
マルチキャスト 一斉同報	<p>放送受信可能端末数：理論上無制限 最大登録放送CH数：255 放送CH 最大同時同報放送CH数：20 放送CH ※PBSPシリーズの場合 10 放送CH ※うち1つはチャンネル番号1 固定</p> <p>登録可能優先度：1～255 最大登録放送CHグループ数：10 グループ 1 グループ 20 放送CHまで ※うち1つはチャンネル番号1 必須</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 開始音・終了音再生機能あり ・ 端末側使用可能コーデック：G.711、G.729A
LANポート	<p>1 ポート（RJ-45 10BASE-T/100BASE-TX）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ Auto MDI/MDI-X対応 ・ IPv4（DHCPクライアント機能非サポート） ・ IPv6 非対応 ・ PoE受電可
状態表示ランプ	前面：3（STATUS、CCH、TCH）

呼制御プロトコル	LANdeVOICE方式（独自プロトコル：IPv4+UDP）
設定方法	ネットワーク上に接続されたPC等のWebブラウザからの操作（設定画面）、Webブラウザからのファイル転送
筐体	プラスチック筐体
動作環境温度の目安 （無風状態の周囲 気温）	単独平置の場合：0℃～50℃
電源	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACアダプタ受電 ・ PoE受電 ※ACアダプタ接続時はLANポートからのPoE受電を停止
消費電力	最大：9.0W 代表値：1.8W（待機時）、2.0W（呼制御時/通話時）
環境対応	欧州RoHS指令準拠 ※弊社独自の化学分析は行っていませんが、本指令に準拠した部材のみを製品に使用しています。
外形寸法	199(W)×126(D)×31.5(H) mm（突起物含まず）
質量	本体約 0.31kg
付属品	<ul style="list-style-type: none"> ・ ACアダプタ（1.5m）×1 スウィッチング電源方式 入力：AC100～240V（50/60Hz） 出力：DC9V、1A 対応環境温度：0℃～50℃ ・ LANケーブル（ストレート、3m）×1 ・ 取扱説明書×1 ・ 保証書（取扱説明書内記載）×1 ・ シリアルシール×1
デフォルトIPアドレス	192.168.1.24
保証期間	購入後 1 年間
オプション品	<ul style="list-style-type: none"> ・ LANdeVOICE4 固定金具キット

付録

- 付録 1 CPS8 からリプレイスする場合について
- 付録 2 ファイル送信による設定について
- 付録 3 syscnfg.iniのパラメータ「CIRT」の動作
- 付録 4 修理について
- 付録 5 パソコンのネットワーク設定について

付録 1 CPS8 からリプレースする場合について

CPS8 からリプレースする場合、以下の手順で設定を行います。

- 1 CPS8 の netcnfg.ini、syscnfg.ini をもとに LCS403 の netcnfg.ini、syscnfg.ini を新たに設定します (P.44～参照)。
- 2 LCS403 の 端末管理システム Web 画面にログインし、CSV 入力タブに CPS8 の phone.tbl をコピー & ペーストします。

※CSV入力タブの使用方法、記述方法等については P.84～をご覧ください。

■注意事項

各端末の netcnfg.ini または syscnfg.ini のパラメータ「SERVER」(、「SERVER2」)に LCS403 の IP アドレスを設定してください。

付録2 ファイル送信による設定について

各種設定ファイルの設定は、設定画面の各設定欄で直接書き換える方法だけでなく、あらかじめ作成しておいた設定ファイルをメニュー「ファイル送信／バックアップファイル復元」(P.40 参照)にてWeb上へ送信(アップロード)する方法でも行うことができます。

この方法は全種類の設定ファイルに適用可能です。

ファイル送信による設定の手順は以下の通りです。

1 以下の形式でファイルを作成します。

【ファイル名と拡張子】

基本設定ファイル:「netcnfg.ini」

システム設定ファイル:「syscnfg.ini」

アクション設定ファイル:「action.ini」

【ファイル形式】

テキスト形式(「メモ帳」等のテキストエディタで作成してください)

※作成後に上記ファイル名と拡張子に変更してください。

※ファイル内のパラメータの記述方法については
「第6章 設定ファイル一覧」を参照してください。

2 作成したファイルを送信します。

メニュー「ファイル送信／バックアップファイルの復元」にて、作成した各種設定ファイルをそれぞれ参照し、送信ボタンを押します。

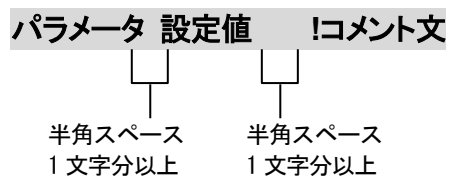
3 再起動ボタンを押し、正常に起動するまで待ちます。

※再起動中は絶対に電源を切らないでください。

■記述方法と編集ルール

基本設定ファイル (netcnfg.ini) の記述方法と編集ルールは以下の通りです。
※その他の設定ファイルについては設定画面と同様です。

<記述方法>



<編集ルール>

- 設定値は必ず記述してください。未記述にすると、正常に動作しない場合があります。
- パラメータ名と設定値は必ず 1 行で記述してください。
- パラメータ名と設定値は半角文字で記述してください。
- スペースには半角スペースを用いてください。
- 設定値の後にメモやコメントをつけることができます。
「! (半角文字)」以降がコメント文になります。コメント文には全角文字および半角文字が使用可能です。
また、行頭に「!」が付いている行の設定は無効になります。

■ 基本設定ファイル (netcnfg.ini) に設定可能なパラメータ

パラメータ名 (設定画面上の 項目名)	説明	設定可能値	出荷時設定
IP (IPアドレス/ ネットマスク)	<p>LCS403 のIPアドレスとネットマスクを設定します。</p> <p>ネットワークに合わせて設定してください。 IP: 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 ネットマスク: 「/」(スラッシュ)の後にネットマスク(ビット数)を記述してください。</p> <p>(記述例 IP 192.168.1.24/24)</p>	<p>固定IPアドレス ネットマスク (IPv4 のみ)</p>	192.168.1.24/24
ROUTER (デフォルト ゲートウェイ)	<p>接続されるネットワークのデフォルトゲートウェイIPアドレスを設定します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ネットワークに合わせて設定してください。 数字と数字の間には、「.」(ピリオド)を入力してください。 デフォルトゲートウェイが無い場合には、設定不要です。 設定を削除する場合はパラメータ名のみ残し値を削除してください。 <p>(記述例 ROUTER 192.168.1.1)</p>	<p>IPアドレス (IPv4 のみ)</p>	192.168.1.1
TERM_NAME (端末名)	<p>端末名を設定します。 (設定画面の表示用として使用されます)</p> <ul style="list-style-type: none"> 先頭は英字のみ設定可能です。 (数字、ハイフン、ピリオドは設定不可) 末尾は英数字のみ設定可能です。 (ハイフン、ピリオドは設定不可) <p>(記述例 TERM_NAME abc-123)</p> <p>無記述時は機種名が表示されます。</p>	<p>最大 20 文字 半角英数字 “ - ” (ハイフン) “ . ” (ピリオド)</p>	機種名が表示されます
HTTPD_PORT (HTTPポート 番号)	<p>設定画面に接続するためのHTTPサーバポート番号を設定します。</p> <p>セキュリティ上、設定画面へのアクセスを拒否したい場合は「0」を設定してください。</p> <p>(記述例 HTTPD_PORT 8084)</p>	0~65535	8084

パラメータ名 (設定画面上の 項目名)	説明	設定可能値	出荷時設定
NTP (NTPサーバ IPアドレス)	時刻同期に使用するNTPサーバのIPアドレス を設定します。 ※ドメイン名での設定はできません。 (記述例 NTP 192.168.1.1)	IPアドレス (IPv4のみ)	未設定
CAST_SERVER (製品モード)	使用する機能を選択する設定です。 【設定可能値】 CCS: 呼制御 CCS UCS: 呼制御+ユニキャスト同報 CCS MCS: 呼制御+マルチキャスト同報 (記述例 CAST_SERVER CCS UCS)	左記参照	CCS

付録3 syscnfg.iniのパラメータ「CIRT」の動作

CIRTの動作は、CSV入力タブの入力フォームに記述されている順番を基準とします。

CIRTに関する入力フォームの記述例とそれに対する動作は以下の通りです。

■入力フォーム記述例

100,0,192.168.1.10,4445,CHK_SID, !端末①

100,0,192.168.1.20,4445,CHK_SID, !端末②

100,0,192.168.1.30,4445,CHK_SID, !端末③

■上記記述で100番が呼び出された場合のCIRT各設定値の動作

ON: 1回目…①から着信

2回目…②から着信

3回目…③から着信

OFF: 何回呼び出されても①から着信

※入力フォームの順番は登録順になっています。順番を変更したい場合は直接書き換えてください。入力フォームで順番を変更しても、LANdeVOICE 端末情報タブや端末状態確認タブの表示順は変更されません。

付録4 修理について

修理の前に、設定や構成を見直すことで問題が解決する場合がございます。今一度、設定を見直して頂き、解決できない場合にはお買い求め頂いた代理店・販売店へご連絡ください。

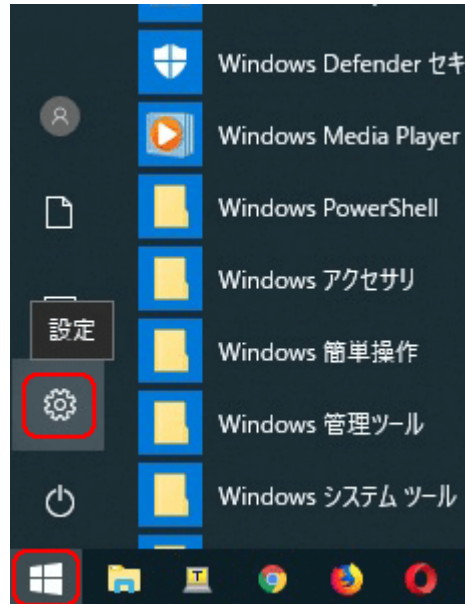
修理については弊社Webサイトをご参照ください。

<https://www.a-2.co.jp/top/repair.html>

付録5 パソコンのネットワーク設定について

端末と接続しているパソコンのネットワーク設定を行います。
設定方法はOSによって異なりますが、ここでは弊社で動作確認したWindows 10
について記載します。

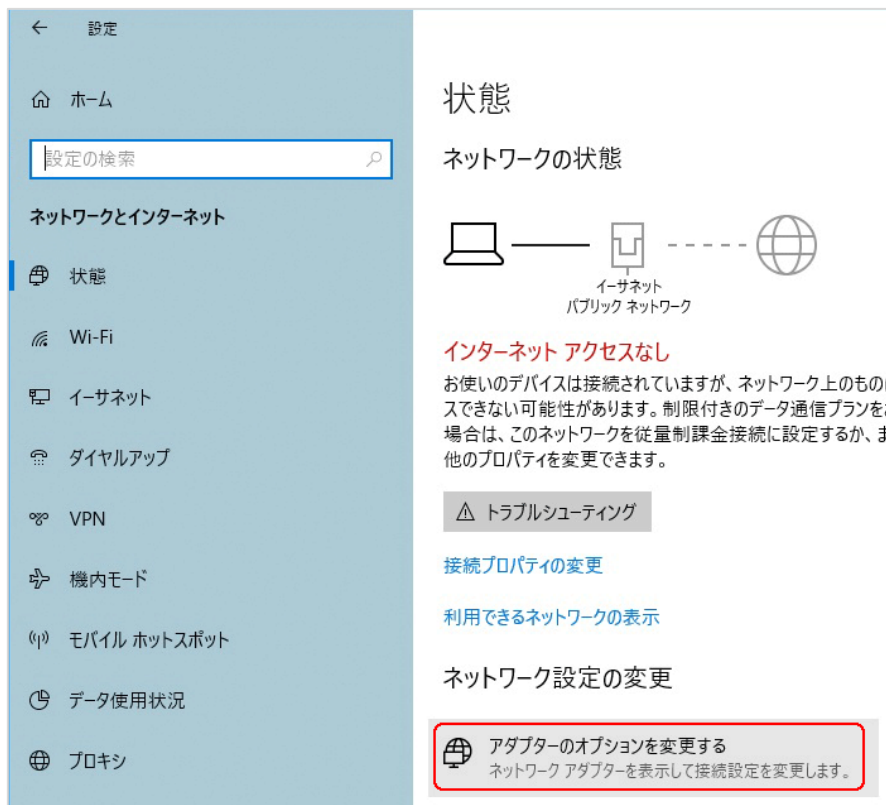
1. 「スタート(窓マーク)」→「設定(歯車マーク)」をクリックしてください。



2. 「Windowsの設定」が開くので、「ネットワークとインターネット」をクリックしてください。



3. 「ネットワークとインターネット」の「状態」が開くので、「アダプターのオプションを変更する」をクリックしてください。



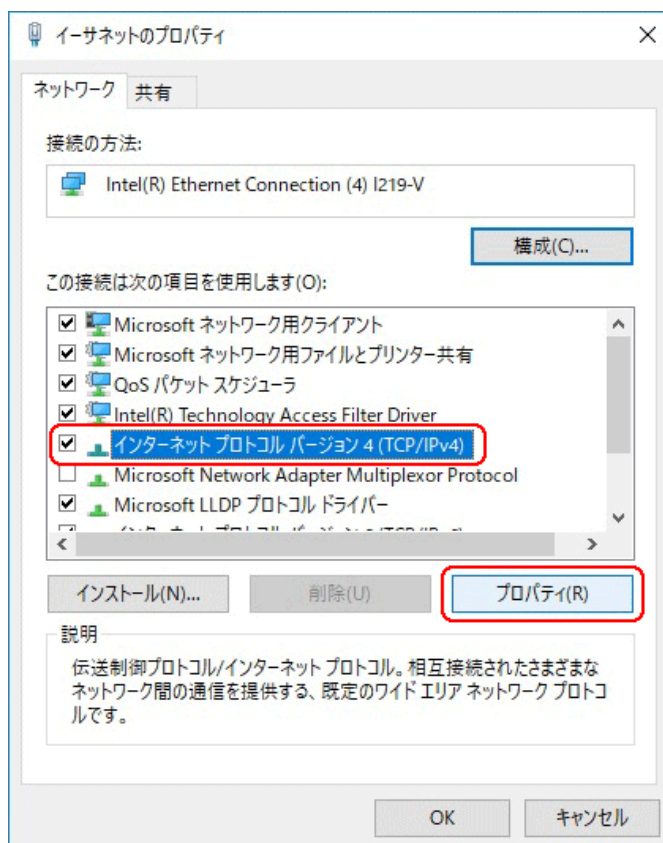
4. 「イーサネット」をダブルクリックしてください。



- 「イーサネットの状態」ウィンドウが表示されるので、「プロパティ(P)」をクリックしてください。



- 「イーサネットのプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「インターネットプロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選択し、「プロパティ(R)」をクリックします。





注意 現在のパソコンの設定を控えておいてください

端末の設定完了後は、パソコンを設定前に戻しますので、どのような設定状態だったかメモ等で控えておいてください。

7. 「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)のプロパティ」ウィンドウが表示されるので、「次のIPアドレスを使う(S)」と「次のDNSサーバーのアドレスを使う(E)」をクリックして以下の値を入力してください。
デフォルトゲートウェイ、DNSサーバーについての値は必要ありません。
入力したら「OK」をクリックします。

IP アドレス	192.168.1.100
サブネットマスク	255.255.255.0
デフォルトゲートウェイ	設定なし
優先 DNS サーバ	設定なし
代替 DNS サーバ	設定なし

インターネット プロトコル バージョン 4 (TCP/IPv4) のプロパティ

全般

ネットワークでこの機能がサポートされている場合は、IP 設定を自動的に取得することができます。サポートされていない場合は、ネットワーク管理者に適切な IP 設定を問い合わせてください。

IP アドレスを自動的に取得する(O)

次の IP アドレスを使う(S):

IP アドレス(I): 192 . 168 . 1 . 100

サブネット マスク(U): 255 . 255 . 255 . 0

デフォルト ゲートウェイ(D): . . .

DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する(B)

次の DNS サーバーのアドレスを使う(E):

優先 DNS サーバー(P): . . .

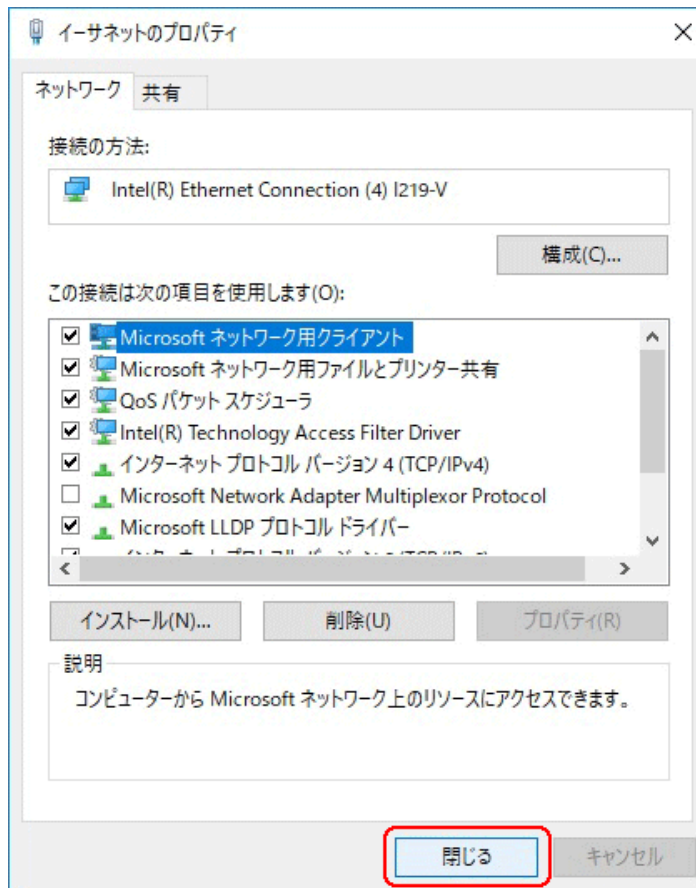
代替 DNS サーバー(A): . . .

終了時に設定を検証する(L)

詳細設定(V)...

OK キャンセル

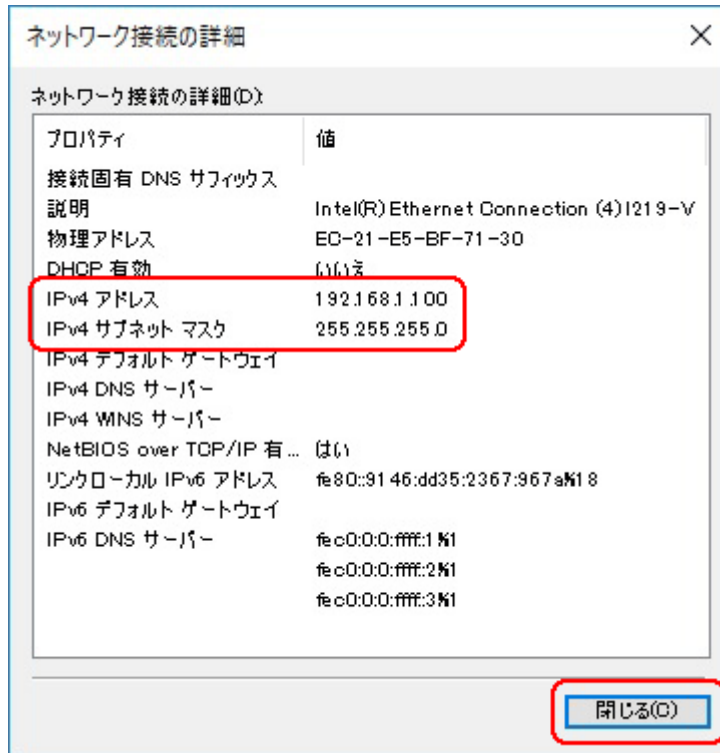
8. 「閉じる」を押して「イーサネットのプロパティ」を閉じます。



9. 【確認】「イーサネットの状態」ウィンドウの「詳細(E)」をクリックします。
「イーサネットの状態」ウィンドウを閉じてしまっている場合は、再度「スタート」→「設定」…とアクセスしていただきます。



10. 「ネットワーク接続の状態」ウィンドウが開くので、IPv4 アドレスが「192.168.1.100」、IPv4 サブネットマスクが「255.255.255.0」になっていることを確認します。
 「閉じる」ボタンをクリックします。



保証書

この製品は、厳密な検査に合格したものです。
お客様の正常な使用状態で万が一故障した場合のみ、保証規定に基づいて無償修理いたします。

- 使用時の注意事項につきましては取扱説明書をご覧ください。
- 故障と思われる現象が生じた場合、まず取扱説明書を参照し、設定や接続が正しく行われているかご確認ください。
- 保証期間内で修理する製品を送送する際、必ず保証書をそえてご依頼ください。本保証書は、製品名、お引渡し日および販売店名が記載されているレシートや納品書等で代用することができます。
- 保証書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

保証規定

- 保証期間内に正常なる使用状態において、万が一故障した場合には無償で修理いたします。
- 修理は送付バック方式です。修理依頼時の送料、機器の取り付け取り外しを業者に依頼した場合の費用はお客様負担にてお願いします。尚、運送中の故障や事故に関して、株式会社エイツーはいかなる責任も負いかねます。
- 本製品を使用した結果発生した情報の消失等の損害について、株式会社エイツーは一切責任を負わないものとします。
- お客様または第三者が被った下記のすべての損害について、株式会社エイツーおよび販売店は、一切その責任を負いませんので、予めご承知おきください。
 - 本製品の使用・使用誤りによって生じた、本製品に起因するあらゆる故障・誤動作、事故・人身・経済損害等
 - 本製品の使用中に停電等の外部要因によって生じた、事故・人身・経済損害等
- 本保証規定に基づく株式会社エイツーの責任は、製品についてお客様が実際に支払った金額を上限とします。
- 次のような場合には、保証期間内でも有償修理となります。
 1. 取扱い上の誤りによる故障および損傷
 2. お客様にて改造・修理をされている場合
 3. お買い上げ後の輸送、移動、落下、そのほかの衝撃による故障および損傷
 4. 間違えて接続した場合（電源電圧が違うアダプタを挿した場合等）の故障および損傷
 5. 火災、塩害、ガス害、地震、落雷、および風水害、その他の天災地変、あるいは異常電圧などの外部要因に起因する故障および損傷
 6. 戦争、暴動、内乱、輸送機関の事故、労働争議その他不可抗力の事由が生じた場合による故障および損傷
 7. 日本国外で発生した損害
 8. お引渡し日および販売店名の記載がある保証書のご提示がない場合
 9. 株式会社エイツーもしくは販売店の都合以外の理由により、保証書に記載の字句を利用者もしくは第三者が改めた場合
- 本保証規定は、日本国内でお買い求めいただき、日本国内でご使用いただいている場合にのみ有効なものとします。(This warranty is valid only in Japan.)
- 本内容については、お客様の権利を不利益に変更するものではありません。

製品名	LANdeVOICE LCS403
保証期間	お引渡し日 年 月 日より1年間

販売店記入欄	販売店名	
	販売店住所	
	TEL ()	

株式会社エイツー
〒142-0041
東京都品川区戸越1-7-1 7F
URL: <https://www.a-2.co.jp>

弊社製品の情報は以下の方法で入手できます。

株式会社エイツー

〒142-0041 東京都品川区戸越 1-7-1 7F

URL : <https://www.a-2.co.jp/landevoice/>

E-mail : landevoice@a-2.co.jp

TEL : 03-5498-7411(代)

受付時間 : 9:30～12:00 13:00～17:00 <土日、年末年始、祝日を除く>

<お問い合わせ先>

ご購入頂いた販売店または、代理店へお問い合わせください。

●保証について

- ・故障と思われる現象が生じた場合は、まず取扱説明書を参照して、接続や設定が正しく行われているかを確認してください。
- ・保証書に記載されている内容を、よくお読みください。正しい使用方法で利用した場合のみ、保証の対象となります。物理的な破損が見受けられる場合は、保証の対象外となりますので予めご了承ください。

●必要事項

- ・製品名 (Model)
- ・シリアル番号 (SN)
- ・お名前、フリガナ
- ・連絡先電話番号、FAX番号、メールアドレス
- ・購入店
- ・購入日付
- ・接続構成
- ・お問い合わせ内容 (症状や状況、使用されているネットワーク機器等を詳細に)